

HPE OpenVMS for Integrity Servers

アップデート・キット VMS84I_UPDATE V1400 リリース・ノート

2019年1月

本書では、OpenVMS Integrity V8.4 に対するアップデートキットである VMS84I_UPDATE-V1400 の概要、インストール方法、および本キットにより修正される問題点について説明しています。

日本ヒューレット・パカード株式会社

© 2019 Hewlett Packard Enterprise Development LP

本書の著作権は Hewlett Packard Enterprise Development LP が保有しており、本書中の解説および図、表は Hewlett Packard Enterprise Development LP の文書による許可なしに、その全体または一部を、いかなる場合にも再版あるいは複製することを禁じます。

また、本書に記載されている事項は、予告なく変更されることがありますので、あらかじめご承知おきください。万一、本書の記述に誤りがあった場合でも、日本ヒューレット・パッカーは一切その責任を負いかねます。

本書で解説するソフトウェア (対象ソフトウェア) は、所定のライセンス契約が締結された場合に限り、その使用あるいは複製が許可されます。

日本ヒューレット・パッカーは、弊社または弊社の指定する会社から納入された機器以外の機器で対象ソフトウェアを使用した場合、その性能あるいは信頼性について一切責任を負いかねます。

Confidential computer software. Valid license from HPE and/or its subsidiaries required for possession, use, or copying.

Consistent with FAR 12.211 and 12.212, Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items are licensed to the U.S. Government under vendor's standard commercial license.

Neither HPE nor any of its subsidiaries shall be liable for technical or editorial errors or omissions contained herein. The information in this document is provided "as is" without warranty of any kind and is subject to change without notice. The warranties for HPE products are set forth in the express limited warranty statements accompanying such products. Nothing herein should be construed as constituting an additional warranty.

DISCLAIMER OF WARRANTY AND LIMITATION OF LIABILITY

THIS PATCH IS PROVIDED AS IS, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND. ALL EXPRESS OR IMPLIED CONDITIONS, REPRESENTATIONS AND WARRANTIES, INCLUDING ANY IMPLIED WARRANTY OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR PARTICULAR PURPOSE, OR NON-INFRINGEMENT, ARE HEREBY EXCLUDED TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. IN NO EVENT WILL HPE BE LIABLE FOR ANY LOST REVENUE OR PROFIT, OR FOR SPECIAL, INDIRECT, CONSEQUENTIAL, INCIDENTAL OR PUNITIVE DAMAGES, HOWEVER CAUSED AND REGARDLESS OF THE THEORY OF LIABILITY, WITH RESPECT TO ANY PATCH MADE AVAILABLE HERE OR TO THE USE OF SUCH PATCH.

原典：本書は『HPE OpenVMS Update Kit for Integrity Servers VMS84I_UPDATE-V1400 ECO Cover Letter』と各パッチキットのリリース・ノートの情報を元に作成しています。

目次

まえがき	vii
1 キットの概要	
1.1 本アップデートキットの概要	1-1
1.2 キット名	1-1
1.3 キットの説明	1-1
1.3.1 インストールの必要性	1-2
1.3.2 リブートの必要性	1-2
1.3.3 このキットを適用する OpenVMS のバージョン	1-2
1.3.4 新機能および新しいハードウェアのサポート	1-2
1.4 本キットにより旧版となるキット	1-2
1.5 依存するキット	1-3
1.6 本アップデートキットに含まれるパッチキット	1-3
2 インストールに関する注意事項	
2.1 テストイメージおよびデバッグイメージのバックアップ	2-1
2.2 圧縮ファイルの展開	2-1
2.3 インストールのためのコマンド	2-1
2.4 インストール時のプロンプト表示の制御	2-2
2.5 HPBINARYCHECKER V1.2-1 のインストールについて	2-3
2.6 VMS84I_LOGINPLUS アップデートキットのインストールについて	2-4
3 VMS84I_UPDATE-V1400 キットで提供される新機能および解決される問題	
3.1 新機能	3-1
3.2 解決される問題	3-1
3.2.1 SET COMMAND は、プロセスクラッシュを引き起こすコマンドテーブルを構築することがあります	3-1
3.2.2 暗号化起動手順で HPE SSL1 がチェックされません	3-2
3.2.3 SMHANDLER はサイト固有のシャットダウン手順を起動しません	3-3
3.2.4 CONVERT ユーティリティで %RMS-F-WBE エラーに対して 2 次エラーメッセージが表示されない	3-3
3.2.5 イメージに定義されたグローバル・バッファ・カウント設定の詳細が確認できません	3-4
3.2.6 1TB 以上のメモリを扱うための AUTOGEN の更新	3-5
3.2.7 Digi Edgeport シリアルアダプタは、システムの起動/再起動時に構成されません	3-5

3.2.8	SCACP SET CHANNEL コマンド修飾子の問題	3-6
3.2.9	ミニマージがディスマウントポリシーで無効になっている場合、DCL レキシカル関数 F\$GETDVI は SHDW_MINIMERGE_ENABLE アイテムコードに TRUE を返します	3-6
3.2.10	クラスタ内のいずれかのノードが xxxxxxFF の CSID を持つ場合、システムは SSRVEXCEPT でクラッシュします	3-7
3.2.11	システムサービス例外 SSRVEXCEPT でクラッシュする	3-7
3.2.12	uaf.dat と rightslist.dat をロックしている時のパフォーマンスの向上	3-8
3.2.13	Audit_Server は、クラスタ内の 1 つ以上のノードでハングします	3-8
3.2.14	"...DIR" という名前のファイルまたはディレクトリの作成がブロックされました	3-9
3.2.15	XQPERR バグチェックでシステムがクラッシュする	3-9
3.2.16	ミニマージが有効な場合、DCL レキシカル関数 F\$GETDVI は SHDW_MINIMERGE_ENABLE アイテムコードに対して FALSE を返します	3-10

4 OpenVMS Integrity V8.4 用の以前のアップデートキットについての情報

A 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

表

1-1	本アップデートキットに含まれるキット一覧	1-3
-----	----------------------------	-----

本書の目的

本書では、VMS84I_UPDATE-V1400 のインストール方法と、本キットにより修正される問題点について説明しています。

対象読者

本書は、システム管理者を対象としています。

本書の構成

本書の構成は次のとおりです。

第 1 章	本アップデートキットについて概要を説明しています。
第 2 章	本アップデートキットのインストールに関する注意事項について説明しています。
第 3 章	本アップデートキットにより修正される問題点について説明しています。
第 4 章	本アップデートキットに含まれているパッチキットのリリースノートについて説明しています。
付録 A	本アップデートキットのインストールにより修正されるファイルの一覧を示しています。

関連資料

- 『HP OpenVMS Integrity アップデート・キット VMS84I_UPDATE-V0600 リリース・ノート』
- 『HP OpenVMS Integrity アップデート・キット VMS84I_UPDATE-V0700 リリース・ノート』
- 『HP OpenVMS Integrity アップデート・キット VMS84I_UPDATE-V0800 リリース・ノート』
- 『HP OpenVMS Integrity アップデート・キット VMS84I_UPDATE-V0900 リリース・ノート』
- 『HP OpenVMS Integrity アップデート・キット VMS84I_UPDATE-V1000 リリース・ノート』

- 『HP OpenVMS Integrity アップデート・キット VMS84I_UPDATE-V1100 リリース・ノート』
- 『HP OpenVMS Integrity アップデート・キット VMS84I_UPDATE-V1200 リリース・ノート』
- 『HP OpenVMS Integrity アップデート・キット VMS84I_UPDATE-V1300 リリース・ノート』

これらのドキュメントは下記の URL で参照できます。

<http://h50146.www5.hpe.com/products/software/oe/openvms/manual/>

本書で使用する表記法

本書では、下記の表記法を使用します。

表記法	意味
Ctrl/x	Ctrl/xという表記は、Ctrl キーを押しながら別のキーまたはポインティング・デバイス・ボタンを押すことを示します。
PF1 x	PF1 xという表記は、PF1 に定義されたキーを押してから、別のキーまたはポインティング・デバイス・ボタンを押すことを示します。
Return	例の中で、キー名が四角で囲まれている場合には、キーボード上でそのキーを押すことを示します。テキストの中では、キー名は四角で囲まれていません。 HTML 形式のドキュメントでは、キー名は四角ではなく、括弧で囲まれています。
...	例の中の水平方向の反復記号は、次のいずれかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 文中のオプションの引数が省略されている。 • 前出の 1 つまたは複数の項目を繰り返すことができる。 • パラメータや値などの情報をさらに入力できる。
.	垂直方向の反復記号は、コードの例やコマンド形式の中の項目が省略されていることを示します。このように項目が省略されるのは、その項目が説明している内容にとって重要ではないからです。
()	コマンドの形式の説明において、括弧は、複数のオプションを選択した場合に、選択したオプションを括弧で囲まなければならないことを示しています。
[]	コマンドの形式の説明において、大括弧で囲まれた要素は任意のオプションです。オプションをすべて選択しても、いずれか 1 つを選択しても、あるいは 1 つも選択しなくても構いません。ただし、OpenVMS ファイル指定のディレクトリ名の構文や、割り当て文の部分文字列指定の構文の中では、大括弧に囲まれた要素は省略できません。
[]	コマンド形式の説明では、括弧内の要素を分けている垂直棒線はオプションを 1 つまたは複数選択するか、または何も選択しないことを意味します。
{ }	コマンドの形式の説明において、中括弧で囲まれた要素は必須オプションです。いずれか 1 のオプションを指定しなければなりません。

表記法	意味
太字	太字のテキストは、新しい用語、引数、属性、条件を示しています。
<i>italic text</i>	イタリック体のテキストは、重要な情報を示します。また、システム・メッセージ (たとえば内部エラー <i>number</i>)、コマンド・ライン (たとえば <i>/PRODUCER=name</i>)、コマンド・パラメータ (たとえば <i>device-name</i>) などの変数を示す場合にも使用されます。
UPPERCASE TEXT	英大文字のテキストは、コマンド、ルーチン名、ファイル名、ファイル保護コード名、システム特権の短縮形を示します。
Monospace type	モノスペース・タイプの文字は、コード例および会話型の画面表示を示します。 C プログラミング言語では、テキスト中のモノスペース・タイプの文字は、キーワード、別々にコンパイルされた外部関数およびファイルの名前、構文の要約、または例に示される変数または識別子への参照などを示します。
-	コマンド形式の記述の最後、コマンド・ライン、コード・ラインにおいて、ハイフンは、要求に対する引数とその後の行に続くことを示します。
数字	特に明記しない限り、本文中の数字はすべて 10 進数です。10 進数以外 (2 進数、8 進数、16 進数) は、その旨を明記してあります。

キットの概要

1.1 本アップデートキットの概要

本アップデートキットの概要は以下のとおりです。

対象バージョン:	OpenVMS for Integrity Servers V8.4
キットサイズ:	331974 ブロック
インストレーション・レーティング:	INSTALL_1
リブートの必要性:	必要
インストレーションに関する注意事項:	無し
本キットにより旧版となるキット:	VMS84I_UPDATE-V1300
依存する必須キット:	VMS84I_HPBINARCHECKER-V0102-1 (あるいはそれ以降の PCSI 修正キット) VMS84I_PCSI-V0400 (あるいはそれ以降の PCSI 修正キット)
オプションの依存キット:	無し

チェックサム:

```
VMS84I_UPDATE-V1400.ZIPEXE Checksum: 2171883553
HP-I64VMS-VMS84I_UPDATE-V1400--4.PCSI$COMPRESSED Checksum: 1358243760
VMS84I_UPDATE-V1400.ZIPEXE MD5 Checksum:
70A5C1F8975E886719DF092615079831
HP-I64VMS-VMS84I_UPDATE-V1400--4.PCSI$COMPRESSED MD5 Checksum:
35E77F9C9811F16CF1EF9869E3003EFB
```

1.2 キット名

本キットのキット名は以下のとおりです。

- VMS84I_UPDATE-V1400

1.3 キットの説明

キットの概要

1.3 キットの説明

1.3.1 インストールの必要性

インストール・レーティング	説明
INSTALL_1	対象ユーザーは全ユーザーです。すべてのシステムでインストールが必要です。

現在の CLD 情報に基づいて示されたこのインストール・レーティングは、この修正キットの適用が必要なシステムについて示しています (本書のコピーライト情報のページの Disclaimer of Warranty and Limitation of Liability Statement を参照)。

1.3.2 リブートの必要性

本パッチのインストール時にはリブートが必要になります。

システムが不安定になるのを防ぐために、キットのインストール直後にリブートすることを強くお勧めします。OpenVMS クラスタ環境内に他のノードが存在する場合は、新しいイメージを使用するようにそれらのシステムもリブートする必要があります。クラスタ全体のリブートが不可能あるいは不都合がある場合は、ローリング・リブートの実行を検討してください。

1.3.3 このキットを適用する OpenVMS のバージョン

本キットは OpenVMS の下記のバージョンに対して適用してください。

- HPE OpenVMS for Integrity Servers V8.4

1.3.4 新機能および新しいハードウェアのサポート

このアップデートキットでサポートする新機能および新しいハードウェアはありません。

1.4 本キットにより旧版となるキット

本キットは、下記のアップデートキットの後継キットです。

- VMS84I_UPDATE-V1300

1.5 依存するキット

本キットあるいは必要なキットをインストールする前に、以下の修正キット (あるいはその後継の修正キット) をインストールしておく必要があります。

- VMS84I_PCSI-V0400
- VMS84I_HPBINARCHECKER-V0102-1

1.6 本アップデートキットに含まれるパッチキット

VMS84I_UPDATE-V1400 キットは、これまでに OpenVMS for Integrity Servers V8.4 に対してリリースされたアップデートキットを含む累積キットになっています。VMS84I_UPDATE-V1400 キットに含まれているキットの一覧は表 1-1 のとおりです。

なお表 1-1 では、以前のバージョンの VMS84I_UPDATE キットでも同じパッチキットが提供されている場合は、そのアップデートキット名を示してあります。

表 1-1 本アップデートキットに含まれるキット一覧

キット名	以前の UPDATE キットでも提供されている場合、そのキット名
VMS84I_ACMELDAP-V0200	(VMS84I_UPDATE-V1000)
VMS84I_ACRTL-V0400	(VMS84I_UPDATE-V1300)
VMS84I_BACKUP-V0300	(VMS84I_UPDATE-V1300)
VMS84I_BASRTL-V0100	(VMS84I_UPDATE-V1300)
VMS84I_CLIUTL-V0300	(VMS84I_UPDATE-V1300)
VMS84I_COBRTL-V0100	(VMS84I_UPDATE-V1300)
VMS84I_DCL-V0200	
VMS84I_DDTM-V0100	(VMS84I_UPDATE-V1000)
VMS84I_DEBUG-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0600)
VMS84I_DRIVER-V0400	(VMS84I_UPDATE-V1300)
VMS84I_ENCRYPT-V0200	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_F11X-V0400	(VMS84I_UPDATE-V1300)
VMS84I_FIBRE_SCSI-V1100	(VMS84I_UPDATE-V1300)
VMS84I_FORRTL-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0700)
VMS84I_IPC-V0200	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_IVMSLOA-V0200	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_JOBCTL-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_LAN-V0500	(VMS84I_UPDATE-V1200)

(次ページに続く)

キットの概要

1.6 本アップデートキットに含まれるパッチキット

表 1-1 (続き) 本アップデートキットに含まれるキット一覧

キット名	以前の UPDATE キットでも提供されている場合、そのキット名
VMS84I_LDAP-V0200	(VMS84I_UPDATE-V1100)
VMS84I_LIBOTS-V0100	(VMS84I_UPDATE-V1100)
VMS84I_LMF-V0100	(VMS84I_UPDATE-V1100)
VMS84I_LOADSS-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0800)
VMS84I_LOGINPLUS-V0200	(VMS84I_UPDATE-V0700)
VMS84I_MANAGE-V0300	
VMS84I_MIME-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0800)
VMS84I_MOUNT96-V0300	(VMS84I_UPDATE-V1300)
VMS84I_MSCP-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0800)
VMS84I_MUP-V0500	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_RAMDISK-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_RMS-V0700	
VMS84I_SECSRV-V0100	(VMS84I_UPDATE-V1000)
VMS84I_SHADOWING-V0300	(VMS84I_UPDATE-V1100)
VMS84I_SORT32-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0800)
VMS84I_SYS-V0800	
VMS84I_SYSLOA-V0300	(VMS84I_UPDATE-V1300)
VMS84I_TDF-V0100	(VMS84I_UPDATE-V1100)
VMS84I_UAF-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_USB-V0200	(VMS84I_UPDATE-V1300)
VMS84I_XFC-V0200	(VMS84I_UPDATE-V1000)

インストールに関する注意事項

2.1 テストイメージおよびデバッグイメージのバックアップ

OpenVMS エンジニアリングに報告された問題をデバッグする過程で、お客様のシステムにデバッグイメージやテストイメージのインストールをお願いしている場合があります。通常これらのイメージには、OpenVMS の修正パッチプロセスによってリリースされるイメージと同様の生成フラグは付与されません。このため、SYS\$COMMON 領域に存在するデバッグイメージおよびテストイメージは、本キットでインストールされる同じ名前のイメージで置き換えられます。この場合、置き換えられたイメージで提供していた機能は失われることになります。これらのデバッグイメージあるいはテストイメージを残したい場合は、次のような操作を行ってください。

- 本キットをインストールする前に、保管するテストイメージ/デバッグイメージを SYS\$SPECIFIC 領域に移動してください。
- キットのインストール中、SYS\$SPECIFIC にあるイメージを削除するかどうか質問されます。ここで、残したいイメージに対しては NO と応答してください。
- インストールが完了した後、システムをリブートする前 (必要な場合) に、SYS\$SPECIFIC から SYS\$COMMON へそのイメージを戻してください。

2.2 圧縮ファイルの展開

本キットは自己解凍の ZIPEXE キットとして提供されています。このファイルをインストール可能な PCSI ファイルに展開する場合は、次のコマンドを実行してください。

```
$ RUN VMS84I_UPDATE-V1400.ZIPEXE
```

2.3 インストールのためのコマンド

本キットのインストールは、SYSTEM アカウントでログインして DCL プロンプトで次のように入力し、POLYCENTER Software Installation ユーティリティを使用し行ってください。

```
$ PRODUCT INSTALL VMS84I_UPDATE [ /SOURCE=キットの場所]
```

インストールに関する注意事項

2.3 インストールのためのコマンド

なお、本キットは/SAVE_RECOVERY_DATA オプションが有効な状態でインストールされます。この修飾子を使用すると、何らかの問題が発生した場合にシステムからこのキットを簡単に削除することができます。このオプションを無効にしたい場合は、PRODUCT INSTALL コマンドで/NOSAVE_RECOVERY_DATA 修飾子を使用します。/SAVE_RECOVERY_DATA 修飾子の使用は任意ですが、使用することを強くお勧めします。

/SOURCE 修飾子には、このキットが含まれている CD あるいはディスク・ディレクトリを指定します。現在のディレクトリにキットが存在する場合にはこの修飾子の指定は省略できます。

PCSI キットのインストールに関するその他のヘルプ情報は、DCL プロンプトでHELP PRODUCT INSTALL と入力することにより参照できます。

2.4 インストール時のプロンプト表示の制御

本キットのインストール中、ユーザーによる応答が必要ないいくつかの質問が表示されます。質問に対して応答せずにインストールを自動化したい場合は、次のような論理名定義とコマンドを含んだ DCL コマンドプロシージャを作成する必要があります。

- バックアップに関する質問プロンプトを表示しないようにするには、次のように定義します。

```
$ DEFINE/SYS NO_ASK$BACKUP TRUE
```

- リブートに関する質問プロンプトを表示しないようにするには、次のように定義します。

```
$ DEFINE/SYS NO_ASK$REBOOT TRUE
```

- *.*_OLD の名前で置き換えられたファイルを保管しておく場合は、次の論理名を YES と定義してください。置き換えられたファイルの保管が必要ない場合は、次の論理名を NO と定義してください。なお、PRODUCT INSTALL コマンドで/SAVE_RECOVERY_DATA 修飾子を指定した場合 (指定することを推奨します)、置き換えられたすべてのファイルは保管されます。この場合、*.*_OLD の保管を指定する必要はありません。

```
$ DEFINE/JOB ARCHIVE_OLD NO
```

- PRODUCT INSTALL コマンドに次の修飾子を追加して、DCL コマンドプロシージャを作成してください。

```
/PROD=HP/BASE=I64VMS/VER=V14.0 [ /SOURCE=キットの場所 ]
```

- 割り当てられた論理名を解除します。

```
$ DEASSIGN/SYS NO_ASK$BACKUP  
$ DEASSIGN/SYS NO_ASK$REBOOT  
$ DEASSIGN/JOB ARCHIVE_OLD
```

VMS84I_UPDATE-V1400 キットをインストールするためのコマンドファイルの例を以下に示します。

```
$ DEFINE/SYS NO_ASK$BACKUP TRUE  
$ DEFINE/SYS NO_ASK$REBOOT TRUE  
$ DEFINE/JOB ARCHIVE_OLD NO  
$!  
$ PROD INSTALL VMS84I_UPDATE/PRODUCER=HP/BASE=I64VMS/VER=V14.0  
$!  
$ DEASSIGN/SYS NO_ASK$BACKUP  
$ DEASSIGN/SYS NO_ASK$REBOOT  
$!  
$ exit  
$!
```

2.5 HPBINARYCHECKER V1.2-1 のインストールについて

2018年2月以降にリリースされたキットをインストールするすべてのお客様は、VMS84I_HPBinaryChecker-V0102-1 キットのインストールが必須となります。これは、より新しい HPE 証明書で署名されたキットを検証するために必要です。

VMS84I_HPBinaryChecker-V0102-1 キットがインストールされていない場合、PCSI は 2018 年 2 月からリリースされた TIMA キットを検証せず、コンソールにエラーメッセージを表示します。

ただし、お客様はキットの検証をスキップしてインストールを進めることができます。これは、次のコマンドで可能です。

```
$ PRODUCT INSTALL <KIT-NAME> /OPTIONS=NOVALIDATE_KIT
```

警告：キットの検証なしでキットをインストールすることはお勧めしません。

VMS84I_HPBinaryChecker-V0102-1 は、HPE サポートセンターバッチ管理ポータルから提供されます。ご質問がある場合は、HPE サポートにお問い合わせください。

2.6 VMS84I_LOGINPLUS アップデートキットのインストールについて

VMS84I_UPDATE-V1400 アップデートキットには VMS84I_LOGINPLUS アップデートキットが統合されています。VMS84I_LOGINPLUS アップデートキットには、SYSSACM 対応 (ACMELOGIN) のログインイメージと従来から提供されている SYSSACM 非対応の標準のログインイメージが含まれています。

VMS84I_LOGINPLUS アップデートキットは、システムにインストールされている LOGINOUT.EXE および SETP0.EXE が SYSSACM 対応であるか SYSSACM 非対応であるかをインストール時に検出し、この結果をもとに SYSSACM 対応あるいは SYSSACM 非対応のいずれかのログインイメージを自動的に置き換えます。このため、どちらのバージョンのログインイメージをインストールするかをユーザーが選択する必要はありません。

VMS84I_UPDATE-V1400 キットで提供される新機能および解決される問題

この章では、VMS84I_UPDATE-V1400 アップデートキットに含まれている各パッチキットで提供される機能、および修正される問題について説明しています。

なお、この章では、VMS84I_UPDATE-V1400 アップデートキットで新たに提供されるパッチキットによる修正点のみを説明します。VMS84I_UPDATE-V1400 アップデートキットは累積キットになっているため過去にリリースされたすべてのパッチキットが含まれていますが、以前のバージョンのアップデートキットで提供されたパッチキットによる修正については、それぞれのバージョンのアップデートキットのリリースノートを参照してください。

過去のアップデートキットのリリースノートについては、第4章を参照してください。

3.1 新機能

VMS84I_UPDATE-V1400 アップデートキットにより提供される新機能はありません。

3.2 解決される問題

VMS84I_UPDATE-V1400 アップデートキットにより解決される問題を以下に示します。なお以降の各項の冒頭に、当該問題を解決するアップデートキット内のパッチキット名を示しています。

3.2.1 SET COMMAND は、プロセスクラッシュを引き起こすコマンドテーブルを構築することがあります

キット名：VMS84I_DCL-V0200

VMS84I_UPDATE-V1400 キットで提供される新機能および解決される問題

3.2 解決される問題

問題の説明：

特定の不正なコマンドによって、後で DCL でプロセスがクラッシュする可能性があります。コマンド構造体の DCL 検証にエラーがあり、不正なコマンドをチェックするときに内部プロセスメモリが破損していました。これにより、プロセスがクラッシュする可能性があります。

SET COMMAND の入力として不正なコマンドが使用されると、不正なコマンド・テーブルが生成され、DCL から後続のプロセス・クラッシュが発生する可能性があります。SET COMMAND への不正な入力によって、DCL で使用するコマンドテーブルを構築中に CDU 内でイメージがクラッシュする可能性があります。

これらの問題は修正されました。

関係するイメージ：

- ・ [SYSEXEC]DCL.EXE
- ・ [SYSEXEC]CDU.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：

QXCM1001616243

回避策：

ありません

3.2.2 暗号化起動手順で HPE SSL1 がチェックされません

キット名：VMS84I_MANAGE-V0300

問題の説明：

ENCRYPT_START.COM は、HP SSL 共有可能ファイルのみをチェックし、HPE SSL1 共有可能イメージはチェックしません。HPE SSL1 をインストールした後、HP SSL V1.4-xxx がシステムから削除される可能性があります。1.0-2 これにより、次のエラーが発生し、ENCRYPT が起動しません。

```
%SYSTEM-W-NOSUCHFILE, no such file \sys$share:SSL$LIBCRYPTO_SHR32.EXE\  
%DCL-E-INVIFNEST, invalid IF-THEN-ELSE nesting structure or data inconsistency  
  
WARNING - SSL Shareable image sys$share:SSL$LIBCRYPTO_SHR32.EXE not installed  
Errors using Encrypt will result. Please Install this as follows:  
$ install add sys$share:SSL$LIBCRYPTO_SHR32.EXE /shared /header_resident  
  
%DCL-E-INVIFNEST, invalid IF-THEN-ELSE nesting structure or data inconsistency  
%SYSTEM-W-NOSUCHFILE, no such file \sys$share:SSL$LIBSSL_SHR32.EXE\  
%DCL-E-INVIFNEST, invalid IF-THEN-ELSE nesting structure or data inconsistency  
  
WARNING - SSL Shareable image sys$share:SSL$LIBSSL_SHR32.EXE not installed  
Errors using Encrypt will result. Please Install this as follows:  
$ install add sys$share:SSL$LIBSSL_SHR32.EXE /shared /header_resident
```

%DCL-E-INVIFNEST, invalid IF-THEN-ELSE nesting structure or data inconsistency

変更された手順では、必要に応じて HP SSL と HPE SSL1 の両方をチェックします。

問題は修正されました。

関係するイメージ :

・ [SYS\$STARTUP]ENCRYPT_START.COM

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :

PTR75-130-79

回避策 :

ありません

3.2.3 SMHANDLER はサイト固有のシャットダウン手順を起動しません

キット名 : VMS84I_MANAGE-V0300

問題の説明 :

SMHANDLER が呼び出されると (例えば、ILO 更新を完了してシステムをシャットダウンした後)、システムは急にシャットダウンされます (サイト固有のシャットダウン手順を呼び出さずに)。

問題は修正されました。

関係するイメージ :

・ [SYSEXEC]SYSSMHANDLER.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :

QXCM1001532664

回避策 :

ありません

3.2.4 CONVERT ユーティリティで %RMS-F-WBE エラーに対して 2 次エラーメッセージが表示されない

キット名 : VMS84I_RMS-V0700

問題の説明 :

CONVERT による RMS I/O 操作が WBE エラーで失敗した場合、セカンダリ・メッセージは表示されません。

%RMS-F-WBE, error on write behind
-NONAME-W-NOMSG, Message number 00000000

この問題は修正されました。

VMS84I_UPDATE-V1400 キットで提供される新機能および解決される問題
3.2 解決される問題

この変更により、新しいエラーメッセージは次のようになります。

```
%RMS-F-WBE, error on write behind  
-SYSTEM-F-EXBYTLM, exceeded byte count quota
```

関係するイメージ：

- ・ [SYSEXEC]CONVERT.EXE
- ・ [SYSLIB]CONVSHR.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：
QXCM1001567364

回避策：

変換がエラー "%RMS-F-WBE、 write behind on error"で失敗し、二次エラーメッセージがない場合、主に BYTLM エラーが原因です。ユーザーはこの問題を回避するために BYTLM を増やすことができます。

3.2.5 イメージに定義されたグローバル・バッファ・カウント設定の詳細が確認できません

キット名： VMS84I_SYS-V0800

問題の説明：

GBC の 3 つのフィールド a) V8.3 以前の 16 ビット値、 b) V8.3 以降の 32 ビット値、 c) V8.3 以降のフラグの設定、をすべて表示するため、DUMP/HEADER の出力を変更する必要がありました。

変更以前は、OpenVMS サポート・スタッフおよびお客様は、これらのフィールドの正確な設定を確認するために、SDA の出力を検索したり、ANAL/RMS を実行する必要がありました。

問題は修正されました。

関係するイメージ：

- ・ [SYSEXEC]DUMP.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：
QXCM1001417504

回避策：

ありません

3.2.6 1TB 以上のメモリを扱うための AUTOGEN の更新

キット名：VMS84I_SYS-V0800

問題の説明：

1TB 以上の物理メモリを持つシステムにおける AUTOGEN のいくつかの問題を修正しました。

o 物理メモリが境界領域にあるときに、AUTOGEN が AUTOGEN_LM を呼び出さない。o AUTOGEN_LM で PQL_DWSDEFAULT の計算値が負の値となる。o 一部の大規模メモリシステムで WSMAX が最小値に設定される。o 1.5TB またはそれに近い大容量メモリシステムで GBLPAGES が減少する。o AUTOGEN_LM で、計算されたファイル・サイズが現在のファイル・サイズの 10% 以内であるかどうかを調べる時、DCL-W-EXPSYN, invalid expression syntax が発生する。o システム・ディスクにページ・ファイルとダンプ・ファイルの両方を拡張するための十分なスペースがない場合、ダンプ・ファイルの変更が行なわれない。状況によっては、0 ブロックの新しい SYSDUMP.DMP ファイルが作成される。o スワップファイルサイズの計算が標準の AUTOGEN.COM プロシージャと整合性があるようにし、AUTOGEN_LM.COM プロシージャを使用するシステムで、値が小さくならないようにする。

この問題は修正されました。

関係するイメージ：

- ・ [SYSUPD]AUTOGEN.COM
- ・ [SYSUPD]AUTOGEN_LM.COM

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：

QXCM1001317659

PTR75-74-427, PTR75-13-2589

回避策：

ありません

3.2.7 Digi Edgeport シリアルアダプタは、システムの起動/再起動時に構成されません

キット名：VMS84I_SYS-V0800

問題の説明：

rx2660 のブート/リブート時に Digi Edgeport シリアルアダプタが検出されません。デバイスを取り外してから再度差し込むと、問題が解決されていました。

この問題は修正されました。

VMS84I_UPDATE-V1400 キットで提供される新機能および解決される問題
3.2 解決される問題

関係するイメージ :

- ・ [SYSS\$LDR]SYSS\$OHCIDRIVER.EXE
- ・ [SYSS\$LDR]SYSS\$OHCIDRIVER.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :
QXCM1001520856

回避策 :
ありません

3.2.8 SCACP SET CHANNEL コマンド修飾子の問題

キット名 : VMS84I_SYS-V0800

問題の説明 :

SCACP SET CHANNEL コマンドが修飾子/LOCAL_DEVICE および/REMOTE_DEVICE の解析に失敗していました。/LOCAL と/REMOTE は認識しますが、完全な単語は認識しません。"_DEVICE" という文字を認識できません。
この問題は修正され、変更されたイメージは/*_DEVICE を認識します。

関係するイメージ :

- ・ [SYSESE]SCACP.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :
QXCM1001374155

回避策 :
ありません

3.2.9 ミニマージがディスマウントポリシーで無効になっている場合、DCL レキシカル関数 F\$GETDVI は SHDW_MINIMERGE_ENABLE アイテムコードに TRUE を返します

キット名 : VMS84I_SYS-V0800

問題の説明 :

f\$getdvi は内部的に io_routines SPC_SHDW_MINIMERGE_ENABLE 関数を呼び出し、ディスクが VU でミニマージ有効かどうかをチェックします。
IO_ROUTINES SPC_SHDW_MINIMERGE_ENABLE 関数は、内部的に IOC_STD\$ARE_BITMAPS_ACTIVE モジュールを呼び出し、ミニマージが有効かどうかを決定します。このシナリオでは、IOC_STD\$ARE_BITMAPS_ACTIVE は、ミニ・コピー・ビットマップにも TRUE を返し、誤った結果となります。
この問題は修正されました。

関係するイメージ :

- ・ [SYS\$LDR]IO_ROUTINES.EXE
- ・ [SYS\$LDR]IO_ROUTINES.STB
- ・ [SYS\$LDR]IO_ROUTINES_MON.EXE
- ・ [SYS\$LDR]IO_ROUTINES_MON.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :
QXCM1001568179

回避策 :
ありません

3.2.10 クラスタ内のいずれかのノードが xxxxxxFF の CSID を持つ場合、システムは SSRVEXCEPT でクラッシュします

キット名 : VMS84I_SYS-V0800

問題の説明 :

xxxxxxFF という CSID を持つリモートノードでプロセスを作成する時、終了メールボックスがプロセスエントリをソースバイナリツリーにインデックス FF で格納しようとして、クラスタノードが SSRVEXCEPT でクラッシュします。
この問題は修正されました。

関係するイメージ :

- ・ [SYSEXEC]CSP.EXE
- ・ [SYSEXEC]CSP.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :
QXCM1001555830

回避策 :
ありません

3.2.11 システムサービス例外 SSRVEXCEPT でクラッシュする

キット名 : VMS84I_SYS-V0800

問題の説明 :

SYS\$VM で想定外のシステムサービス例外 SSRVEXCEPT でクラッシュすることがありました。
問題は修正されました。

VMS84I_UPDATE-V1400 キットで提供される新機能および解決される問題
3.2 解決される問題

関係するイメージ :

- ・ [SYS\$LDR]SYSS\$VM.EXE
- ・ [SYS\$LDR]SYSS\$VM.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :
QXCM1001606217

回避策 :
ありません

3.2.12 uaf.dat と rightslist.dat をロックしている時のパフォーマンスの向上

キット名 : VMS84I_SYS-V0800

問題の説明 :

SYSS\$FIND_HELD を使用するアプリケーションのパフォーマンスは最適ではありませんでした。
これらの問題は修正されました。

関係するイメージ :

- ・ [SYSLIB]SECURESHR.EXE
- ・ [SYSLIB]SECURESHRP.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :
QXCM1001399474

回避策 :
ありません

3.2.13 Audit_Server は、クラスタ内の 1 つ以上のノードでハングします

キット名 : VMS84I_SYS-V0800

問題の説明 :

Audit_Server は、SET AUDIT/SERVER=NEW_JOURNAL または SET AUDIT/SERVER=FLUSH コマンドが比較的近い間隔内で実行された場合、クラスタ内の 1 つ以上のノードでハングします。

サーバーが再起動コマンドに回答しないため、問題の解決にはシステムを再起動する必要がありますがありました。

これらの問題は修正されました。

関係するイメージ :

- ・ [SYSEXE]AUDIT_SERVER.EXE
- ・ [SYSEXE]AUDIT_SERVER.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：
QXCM1001557748

回避策：
ありません

3.2.14 "...DIR"という名前のファイルまたはディレクトリの作成がブロックされました

キット名： VMS84I_SYS-V0800

問題の説明：

OpenVMS は POSIX パス名をサポートしていますが、POSIX 名で ".." は特別な意味 (上位ディレクトリを指す) を持つので、ODS-5 でのファイル名 "...DIR" の使用は制限されなければなりません。

そこで、"...DIR" という名前のファイルまたはディレクトリを作成するために呼び出しが行われた場合、BADFILENAME エラーを返すようにファイルシステムに変更が加えられました。

POSIX のネーミング・サポートの詳細については、HPE C ランタイム・ライブラリ・リファレンス・マニュアル (OpenVMS) を参照してください。

関係するイメージ：

- ・ [SYSS\$LDR]F11BXQP.EXE
- ・ [SYSS\$LDR]F11BXQP.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：
QXCM1001511640

回避策：
ありません

3.2.15 XQPERR バグチェックでシステムがクラッシュする

キット名： VMS84I_SYS-V0800

問題の説明：

断片化したディスク上のファイルの名前を変更すると、特定の条件下で XQPERR バグチェックでシステムがクラッシュする可能性があります。

関係するイメージ：

- ・ [SYSS\$LDR]F11BXQP.EXE
- ・ [SYSS\$LDR]F11BXQP.STB

VMS84I_UPDATE-V1400 キットで提供される新機能および解決される問題
3.2 解決される問題

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：
QXCM1001493998

回避策：
ありません

3.2.16 ミニマージが有効な場合、DCL レキシカル関数 F\$GETDVI は
SHDW_MINIMERGE_ENABLE アイテムコードに対して FALSE を返します

キット名：VMS84I_SYS-V0800

問題の説明：

f\$getdvi は内部的に IO ROUTINES を呼び出して、ディスクが VU でミニマージ有効かどうかをチェックしていました。IO ROUTINES に実装されたコードパスは、multiuse ビットマップの場合、ミニマージが有効かどうかをチェックするものではありません。

この問題は修正されました。

関係するイメージ：

- ・ [SYS\$LDR]IO_ROUTINES.EXE
- ・ [SYS\$LDR]IO_ROUTINES.STB
- ・ [SYS\$LDR]IO_ROUTINES_MON.EXE
- ・ [SYS\$LDR]IO_ROUTINES_MON.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：
QXCM1001568179

回避策：
ありません

OpenVMS Integrity V8.4 用の以前のアップデートキット についての情報

VMS84I_UPDATE-V1400 キットは、これまでに OpenVMS Integrity V8.4 に対してリリースされたアップデートキットを含む累積キットになっています。本書の第 3 章では、今回新たに含まれるパッチキットに関する情報を提供していますが、以前のアップデートキットにも含まれているパッチキットに関する情報は、本キットと共にインストールされる以下のリリース・ノートで参照できます。

- [SYSHLP]VMS84I_ACMELDAP-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_ACMELDAP-V0200.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_ACRTL-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_ACRTL-V0200.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_ACRTL-V0300.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_ACRTL-V0400.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_BACKUP-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_BACKUP-V0200.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_BACKUP-V0300.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_BASRTL-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_CLIUTL-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_CLIUTL-V0200.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_CLIUTL-V0300.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_COBRTL-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_DCL-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_DCL-V0200.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_DDTM-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_DEBUG-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_DRIVER-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_DRIVER-V0200.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_DRIVER-V0300.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_DRIVER-V0400.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_ENCRYPT-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_ENCRYPT-V0200.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_F11X-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_F11X-V0200.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_F11X-V0300.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_F11X-V0400.RELEASE_NOTES

- [SYSHLP]VMS84I_FIBRE_SCSI-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_FIBRE_SCSI-V0200.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_FIBRE_SCSI-V0300.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_FIBRE_SCSI-V0400.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_FIBRE_SCSI-V0500.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_FIBRE_SCSI-V0600.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_FIBRE_SCSI-V0700.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_FIBRE_SCSI-V0800.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_FIBRE_SCSI-V0900.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_FIBRE_SCSI-V1000.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_FIBRE_SCSI-V1100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_FORRTL-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_IPC-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_IPC-V0200.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_IVMSLOA-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_IVMSLOA-V0200.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_JOBCTL-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_LAN-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_LAN-V0200.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_LAN-V0300.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_LAN-V0400.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_LAN-V0500.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_LDAP-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_LDAP-V0200.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_LIBOTS-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_LMF-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_LOADSS-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_LOGINPLUS-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_LOGINPLUS-V0200.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_MANAGE-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_MANAGE-V0200.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_MANAGE-V0300.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_MIME-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_MOUNT96-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_MOUNT96-V0200.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_MOUNT96-V0300.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_MSCP-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_MUP-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_MUP-V0200.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_MUP-V0300.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_MUP-V0400.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_MUP-V0500.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_RAMDISK-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_RMS-V0100.RELEASE_NOTES

- [SYSHLP]VMS84I_RMS-V0200.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_RMS-V0300.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_RMS-V0400.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_RMS-V0500.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_RMS-V0600.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_RMS-V0700.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_SECSRV-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_SHADOWING-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_SHADOWING-V0200.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_SHADOWING-V0300.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_SORT32-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_SYS-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_SYS-V0200.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_SYS-V0300.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_SYS-V0400.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_SYS-V0500.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_SYS-V0600.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_SYS-V0700.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_SYS-V0800.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_SYSLOA-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_SYSLOA-V0200.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_SYSLOA-V0300.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_TDF-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_UAF-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_UPDATE-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_UPDATE-V0200.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_UPDATE-V0300.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_UPDATE-V0500.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_UPDATE-V0600.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_UPDATE-V0700.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_UPDATE-V0800.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_UPDATE-V0900.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_UPDATE-V1000.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_UPDATE-V1100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_UPDATE-V1200.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_UPDATE-V1300.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_USB-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_USB-V0200.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_XFC-V0100.RELEASE_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I_XFC-V0200.RELEASE_NOTES

これらをインストール前に参照したい場合は、次に説明するコマンドでキットから取り出すことができます。

- 一度にすべてのリリース・ノートを取り出すには、次のコマンドを使用します。

```
$ PRODUCT EXTRACT RELEASE_NOTES VMS84I_UPDATE /VERSION=V14.0 -  
_$_ [/file=destination_directory]
```

- 特定のリリース・ノートを取り出すには、次のコマンドを使用します。

```
$ PRODUCT EXTRACT FILE VMS84I_UPDATE /VERSION=V14.0 -  
_$_ /SELECT=release_note_name [/DESTINATION=destination_directory]
```

個々の RELEASE_NOTES ファイルの名前は次のコマンドで確認できます。

```
$ PRODUCT LIST VMS84I_UPDATE /VERSION=V14.0 /SELECT = *.RELEASE_NOTES
```

なお、VMS84I_UPDATE-V0600 ~ VMS84I_UPDATE-V1300 の日本語リリースノートについては、下記の URL の OpenVMS の Web サイトで提供されています。

<http://h50146.www5.hp.com/products/software/oe/openvms/manual/>

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

イメージファイルには、イメージ識別情報を付けています。

- [SYSEXEXE]ACC.EXE

イメージ名:	"ACC"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-16"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	23-MAY-2011 12:08:23.55	チェックサム:	28484EA0

- [SYSS\$LDR]ACME.EXE

イメージ名:	"ACME"	ビルド ID:	"0100000167"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	29-MAY-2015 15:08:44.13	チェックサム:	C3398391

- [SYSEXEXE]ACMELOGIN_LOGINOUT.EXE

イメージ名:	"LOGINOUT"	ビルド ID:	"0100000072"
ファイル ID:	"LOGIN98 X-1"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-APR-2012 11:53:34.16	チェックサム:	FE609706

- [SYSEXEXE]ACMELOGIN_SETP0.EXE

イメージ名:	"SETP0"	ビルド ID:	"0100000072"
ファイル ID:	"LOGIN98 X-1"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-APR-2012 11:54:30.43	チェックサム:	42BF2AD2

- [SYSEXEXE]ACME_SERVER.EXE

イメージ名:	"ACME_SERVER"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-42"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:34:03.58	チェックサム:	65AB664B

- [SYSEXEXE]AGENS\$FEEDBACK.EXE

イメージ名:	"AGENS\$FEEDBACK"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-32"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:46:46.56	チェックサム:	3371A610

- [SYSEXEXE]ANALYZRMS.EXE

イメージ名:	"ANALYZRMS"	ビルド ID:	"0100070118"
ファイル ID:	"X-13"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	4-OCT-2013 13:48:08.57	チェックサム:	A574951

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

- [SYSEXE]AUDIT_SERVER.EXE

イメージ名:	"AUDIT_SERVER"	ビルド ID:	"0100070227"
ファイル ID:	"X-13"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	25-JAN-2018 15:29:59.73	チェックサム:	D4864A88

- [SYSEXE]AUTHORIZE.EXE

イメージ名:	"AUTHORIZE"	ビルド ID:	"0100000088"
ファイル ID:	"X-32"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	22-OCT-2012 11:29:04.25	チェックサム:	F0AE134D

- [SYSEXE]BACKUP.EXE

イメージ名:	"BACKUP"	ビルド ID:	"0100000198"
ファイル ID:	"V8.4"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-JUN-2016 11:29:10.72	チェックサム:	8B354E95

- [SYSLIB]BACKUPSHR.EXE

イメージ名:	"BACKUPSHR"	ビルド ID:	"0100000198"
ファイル ID:	"V8.4"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-JUN-2016 11:28:56.56	チェックサム:	8C6A9062

- [SYSHLP.UNSUPPORTED]CDDVD\$COMPARE.EXE

イメージ名:	"CDDVD\$COMPARE"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"CDDVD V1.0-1"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	28-NOV-2010 19:09:59.35	チェックサム:	1CCCCAC3

- [SYSHLP.UNSUPPORTED]CDDVD\$COPY.EXE

イメージ名:	"CDDVD\$COPY"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"CDDVD V1.0-1"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	28-NOV-2010 19:09:39.02	チェックサム:	7C0C5E6

- [SYSEXE]CDDVD\$CP.EXE

イメージ名:	"CDDVD\$CP"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"CDDVD V1.0-1"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	28-NOV-2010 19:10:22.25	チェックサム:	D101AA6C

- [SYSMMSG]CDDVD\$MESSG.EXE

イメージ名:	"CDDVD\$MESSG"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"CDDVD V1.0-1"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	28-NOV-2010 17:24:33.20	チェックサム:	33F0FBC8

- [SYSEXE]CDU.EXE

イメージ名:	"CDU"	ビルド ID:	"0100070224"
--------	-------	---------	--------------

ファイル ID:	"I01-11"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	5-MAR-2018 15:33:50.23	チェックサム:	2FD6221C
• [SYSMMSG]CLIUTLMSG.EXE			
イメージ名:	"CLIUTLMSG"	ビルド ID:	"0100000208"
ファイル ID:	"X-3"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	25-APR-2017 18:10:14.51	チェックサム:	142BE352
• [SYSLIB]CLUE\$SDA.EXE			
イメージ名:	"CLUE\$SDA"	ビルド ID:	"0100000105"
ファイル ID:	"X-71"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-APR-2013 11:44:16.65	チェックサム:	FE673015
• [SYS\$LDR]CNX\$DEBUG.EXE			
イメージ名:	"CNX\$DEBUG"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	8-AUG-2011 13:07:47.78	チェックサム:	7323B449
• [SYSEXEC]CONVERT.EXE			
イメージ名:	"CONVERT"	ビルド ID:	"0100000226"
ファイル ID:	"X-12"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	16-MAR-2018 18:42:56.69	チェックサム:	2549499B
• [SYSLIB]CONVSHR.EXE			
イメージ名:	"CONVSHR"	ビルド ID:	"0100000226"
ファイル ID:	"X1-012"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	16-MAR-2018 18:43:58.58	チェックサム:	9E82D06A
• [SYSEXEC]COPY.EXE			
イメージ名:	"COPY"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X02-01"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:34:03.31	チェックサム:	46E9F9D
• [SYSEXEC]CSP.EXE			
イメージ名:	"CSP"	ビルド ID:	"0100000216"
ファイル ID:	"X-30"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	28-JUL-2017 12:23:41.21	チェックサム:	288104BE
• [SYSLIB]DBG\$HA_KERNEL.EXE			
イメージ名:	"DBG\$HA_KERNEL"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"V8.4-001"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-MAR-2011 12:19:31.81	チェックサム:	F15DFC01

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

• [SYSLIB]DBG\$SHA_MAIN.EXE

イメージ名:	"DBG\$SHA_MAIN"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"V8.4-001"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-MAR-2011 12:19:27.88	チェックサム:	26E710E6

• [SYSEXE]DBGHK\$HOST_KERNEL.EXE

イメージ名:	"DBGHK\$HOST_KERNEL"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"V8.4-000"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:59:12.51	チェックサム:	E58D00ED

• [SYSEXE]DBGHK\$PRCDUMP_KERNEL.EXE

イメージ名:	"DBGHK\$PRCDUMP_KERNEL"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"V8.4-000"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:59:15.06	チェックサム:	20F2A7EC

• [SYSEXE]DBGHK\$SYSDUMP_KERNEL.EXE

イメージ名:	"DBGHK\$SYSDUMP_KERNEL"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"V8.4-000"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:59:16.92	チェックサム:	B549FCE7

• [SYSMMSG]DBGTBKMSG.EXE

イメージ名:	"DBGTBKMSG"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"V8.4-001"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-MAR-2011 12:19:16.10	チェックサム:	18D626C7

• [SYSLIB]DCE\$LIB_SHR.EXE

イメージ名:	"DCE\$LIB_SHR"	ビルド ID:	""
ファイル ID:	"DCE V3.2-100509"	リンカー ID:	"Linker I02-17"
リンク日時:	10-MAY-2010 02:54:11.62	チェックサム:	1E7AB502

• [SYSEXE]DCL.EXE

イメージ名:	"DCL"	ビルド ID:	"0100000224"
ファイル ID:	"X-55"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	5-MAR-2018 15:31:10.89	チェックサム:	3D5CA1D1

• [SYSLIB]DEBUG.EXE

イメージ名:	"DEBUG"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"V8.4-001"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-MAR-2011 12:19:07.10	チェックサム:	243C847E

• [SYSLIB]DEBUGSHR.EXE

イメージ名:	"DEBUGSHR"	ビルド ID:	"0100000004"
--------	------------	---------	--------------

ファイル ID:	"V8.4-001"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:34:39.26	チェックサム:	F52B8527
• [SYSLIB]DEBUGSRVSHR.EXE			
イメージ名:	"DEBUGSRVSHR"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"V8.4-001"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-MAR-2011 12:19:01.54	チェックサム:	E8516CBD
• [SYSLIB]DEBUGISHR.EXE			
イメージ名:	"DEBUGISHR"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"V8.4-001"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-MAR-2011 12:19:16.02	チェックサム:	A088619A
• [SYSLIB]DEC\$BASRTL.EXE			
イメージ名:	"DEC\$BASRTL"	ビルド ID:	"0100000214"
ファイル ID:	"V01-037"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	21-JUL-2017 13:00:09.62	チェックサム:	FE1D08C8
• [SYSLIB]DEC\$COBRTL.EXE			
イメージ名:	"LIBCOB"	ビルド ID:	"0100000214"
ファイル ID:	"V2.9-785"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	21-JUL-2017 13:00:02.92	チェックサム:	A2E22F49
• [SYSLIB]DEC\$FORRTL.EXE			
イメージ名:	"DEC\$FORRTL"	ビルド ID:	"0100000005"
ファイル ID:	"V01-07.004"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-FEB-2012 12:58:49.90	チェックサム:	AFAA15AA
• [SYSLIB]DECC\$SHR.EXE			
イメージ名:	"DECC\$SHR"	ビルド ID:	"0100000215"
ファイル ID:	"V8.4-00"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	26-JUL-2017 14:01:39.57	チェックサム:	748663B2
• [SYSLIB]DECC\$SHRP.EXE			
イメージ名:	"DECC\$SHRP"	ビルド ID:	"0100000215"
ファイル ID:	"V8.4-00"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	26-JUL-2017 14:01:35.80	チェックサム:	AA6FDC82
• [SYSEXEC]DELETE.EXE			
イメージ名:	"DELETE"	ビルド ID:	"0100000171"
ファイル ID:	"X-05"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUL-2015 14:35:01.12	チェックサム:	AF6469D6

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

• [SYSEXEXE]DIFF.EXE

イメージ名:	"DIFF"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-12"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	19-JUL-2011 16:49:40.22	チェックサム:	2D361DA1

• [SYSEXEXE]DIRECTORY.EXE

イメージ名:	"DIRECTORY"	ビルド ID:	"0100000212"
ファイル ID:	"X02-01"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	7-JUL-2017 12:46:37.93	チェックサム:	BB6B70F6

• [SYSLIB]DKLOG\$SDA.EXE

イメージ名:	"DKLOG\$SDA"	ビルド ID:	"0100000197"
ファイル ID:	"X-8"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	13-JUN-2016 17:40:06.86	チェックサム:	66D66816

• [SYSLIB]DPML\$SHR.EXE

イメージ名:	"DPML\$SHR"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"T01-018"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-JUL-2011 15:15:22.89	チェックサム:	B2865D89

• [SYSEXEXE]DUMP.EXE

イメージ名:	"DUMP"	ビルド ID:	"0100000173"
ファイル ID:	"X-29"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	24-JUL-2015 12:16:21.19	チェックサム:	6D96A38C

• [SYSLIB]EDTSHR.EXE

イメージ名:	"EDTSHR"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"1-050"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	21-AUG-2010 14:15:26.98	チェックサム:	28651612

• [SYSEXEXE]EFIS\$BCFG.EXE

イメージ名:	"EFIS\$BCFG"	ビルド ID:	"0100000072"
ファイル ID:	"X-43"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-APR-2012 13:59:54.84	チェックサム:	6F7BEF2A

• [SYSLIB]ENCRYP\$SHR.EXE

イメージ名:	"ENCRYP\$SHR"	ビルド ID:	"0100000065"
ファイル ID:	"ENCRYPT V2.2"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	2-FEB-2012 11:30:31.13	チェックサム:	F1A8341D

• [SYSEXEXE]ENCRYPT\$AUTH.EXE

イメージ名:	"ENCRYPT\$AUTH"	ビルド ID:	"0100000102"
--------	-----------------	---------	--------------

- | | | | |
|----------|-------------------------|----------|-----------------|
| ファイル ID: | "ENCRYPT V2.2" | リンカー ID: | "Linker I02-37" |
| リンク日時: | 12-MAR-2013 11:32:18.31 | チェックサム: | 9F234F4B |
- [SYSMMSG]ENCRYPT\$ _MSG.EXE

イメージ名:	"ENCRYPT\$ _MSG"	ビルド ID:	"0100000065"
ファイル ID:	"ENCRYPT V2.2"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	2-FEB-2012 11:31:32.41	チェックサム:	A147CE2E
 - [SYSEXEXE]ERRFMT.EXE

イメージ名:	"ERRFMT"	ビルド ID:	"0100000128"
ファイル ID:	"X-23"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	27-FEB-2014 17:06:12.25	チェックサム:	2E07C213
 - [SYSSLDR]ERRORLOG.EXE

イメージ名:	"ERRORLOG"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:34:03.30	チェックサム:	4696DD8F
 - [SYSSLDR]EXCEPTION.EXE

イメージ名:	"EXCEPTION"	ビルド ID:	"0100000117"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	26-SEP-2013 14:38:10.26	チェックサム:	73DA03CA
 - [SYSSLDR]EXCEPTION_MON.EXE

イメージ名:	"EXCEPTION_MON"	ビルド ID:	"0100000117"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	26-SEP-2013 14:38:14.43	チェックサム:	73DA03CA
 - [SYSSLDR]EXEC_INIT.EXE

イメージ名:	"EXEC_INIT"	ビルド ID:	"0100000227"
ファイル ID:	"X-217"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	25-MAY-2018 17:42:34.72	チェックサム:	627E6265
 - [SYSSLDR]F11BXQP.EXE

イメージ名:	"F11BXQP"	ビルド ID:	"0100000211"
ファイル ID:	"XQP V84R CFR"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	9-JUN-2017 18:47:12.61	チェックサム:	CF564862
 - [SYSEXEXE]F11CACP.EXE

イメージ名:	"F11CACP"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-13"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:58:16.63	チェックサム:	858832A3

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

• [SYSEXEXE]F11DACP.EXE

イメージ名:	"F11DACP"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-13"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:58:17.63	チェックサム:	12EC70DC

• [SYSEXEXE]FAL.EXE

イメージ名:	"FAL"	ビルド ID:	"0100000119"
ファイル ID:	"X-10"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	25-OCT-2013 18:28:10.62	チェックサム:	883D24AB

• [SYSLIB]FC\$SDA.EXE

イメージ名:	"FC\$SDA"	ビルド ID:	"0100000154"
ファイル ID:	"X-42"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	16-JAN-2015 13:50:51.03	チェックサム:	7E8D3293

• [SYS\$LDR]FLT\$DEBUG.EXE

イメージ名:	"FLT\$DEBUG"	ビルド ID:	"0100000005"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	2-FEB-2012 11:31:50.37	チェックサム:	5DD7CEA3

• [SYSLIB]FLT\$SDA.EXE

イメージ名:	"FLT\$SDA"	ビルド ID:	"0100000005"
ファイル ID:	"X-8A1"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	2-FEB-2012 11:31:51.09	チェックサム:	63800810

• [SYSLIB]HBAAPITEST.EXE

イメージ名:	"HBAAPITEST"	ビルド ID:	"0100000154"
ファイル ID:	"V1.0"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	16-JAN-2015 13:50:47.37	チェックサム:	72A8076F

• [SYSLIB]HBA_VMS.EXE

イメージ名:	"HBA_VMS"	ビルド ID:	"0100000154"
ファイル ID:	"V1.0"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	16-JAN-2015 13:50:46.54	チェックサム:	70B70770

• [SYSLIB]I64_CLUE\$SDA.EXE

イメージ名:	"I64_CLUE\$SDA"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-69"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:46:54.95	チェックサム:	8972E72D

• [SYSEXEXE]I64_DBGHK\$HOST_KERNEL.EXE

イメージ名:	"I64_DBGHK\$HOST_KERNEL"	ビルド ID:	"0100000002"
--------	--------------------------	---------	--------------

ファイル ID:	"V8.4-000"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:59:13.42	チェックサム:	D4EC58D6
• [SYSLIB]ICC\$SDA.EXE			
イメージ名:	"ICC\$SDA"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-2"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	20-OCT-2010 18:17:47.51	チェックサム:	945326A5
• [SYS\$LDR]IMAGE_MANAGEMENT.EXE			
イメージ名:	"IMAGE_MANAGEMENT"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:47:12.68	チェックサム:	102AE8D0
• [SYSLIB]IMGDMP.EXE			
イメージ名:	"IMGDMP"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-72"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	8-AUG-2011 13:07:09.05	チェックサム:	C088596
• [SYSEXEC]INDICTMENT_SERVER.EXE			
イメージ名:	"INDICTMENT_SERVER"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-9"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	21-AUG-2010 14:16:16.86	チェックサム:	3DA25BA
• [SYSLIB]INIT\$SHR.EXE			
イメージ名:	"INIT\$SHR"	ビルド ID:	"0100000197"
ファイル ID:	"X-9"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	13-JUN-2016 17:36:49.91	チェックサム:	CFA1FD22
• [SYSEXEC]INIT.EXE			
イメージ名:	"INIT"	ビルド ID:	"0100000197"
ファイル ID:	"X-24"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	13-JUN-2016 17:39:34.11	チェックサム:	36E9D843
• [SYSEXEC]INSTALL.EXE			
イメージ名:	"INSTALL"	ビルド ID:	"0100000218"
ファイル ID:	"X-34"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-AUG-2017 16:50:57.70	チェックサム:	FA953E8B
• [SYSLIB]IOGEN\$AVIO_CONFIG.EXE			
イメージ名:	"IOGEN\$AVIO_CONFIG"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:57:20.35	チェックサム:	983985BC

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

- [SYSLIB]IOGEN\$CISS_CONFIG.EXE
イメージ名: "IOGEN\$CISS_CONFIG" ビルド ID: "0100000190"
ファイル ID: "X-11" リンカー ID: "Linker I02-37"
リンク日時: 4-MAR-2016 16:35:23.72 チェックサム: D85CC76B
- [SYSLIB]IOGEN\$FIBRE_CONFIG.EXE
イメージ名: "IOGEN\$FIBRE_CONFIG" ビルド ID: "0100000002"
ファイル ID: "X-39" リンカー ID: "Linker I02-37"
リンク日時: 15-SEP-2010 15:49:45.45 チェックサム: DDEB4425
- [SYSLIB]IOGEN\$ISA_CONFIG.EXE
イメージ名: "IOGEN\$ISA_CONFIG" ビルド ID: "0100000000"
ファイル ID: "X-21" リンカー ID: "Linker I02-37"
リンク日時: 14-MAY-2010 23:07:19.51 チェックサム: A82BC75
- [SYSLIB]IOGEN\$SCSI_CONFIG.EXE
イメージ名: "IOGEN\$SCSI_CONFIG" ビルド ID: "0100000002"
ファイル ID: "X-14" リンカー ID: "Linker I02-37"
リンク日時: 12-AUG-2010 14:57:20.56 チェックサム: 58D28E83
- [SYSSLDR]IO_ROUTINES.EXE
イメージ名: "IO_ROUTINES" ビルド ID: "0100000227"
ファイル ID: "X-5" リンカー ID: "Linker I02-37"
リンク日時: 25-MAY-2018 17:42:41.26 チェックサム: E7A1B10E
- [SYSSLDR]IO_ROUTINES_MON.EXE
イメージ名: "IO_ROUTINES_MON" ビルド ID: "0100000227"
ファイル ID: "X-5" リンカー ID: "Linker I02-37"
リンク日時: 25-MAY-2018 17:42:51.80 チェックサム: FD93830C
- [SYSEXEXE]IPB.EXE
イメージ名: "IPB" ビルド ID: "0100000154"
ファイル ID: "X-4" リンカー ID: "Linker I02-37"
リンク日時: 16-JAN-2015 13:48:33.26 チェックサム: E4F3C354
- [SYSEXEXE]IPB_NOXDELTA.EXE
イメージ名: "IPB_NOXDELTA" ビルド ID: "0100000005"
ファイル ID: "X-4" リンカー ID: "Linker I02-37"
リンク日時: 2-FEB-2012 11:31:42.13 チェックサム: 8E9E08DD
- [SYSEXEXE]JBC\$JOB_CONTROL.EXE
イメージ名: "JBC\$JOB_CONTROL" ビルド ID: "0100000082"

- | | | | |
|----------|------------------------|----------|-----------------|
| ファイル ID: | "X-35" | リンカー ID: | "Linker I02-37" |
| リンク日時: | 3-AUG-2012 13:49:47.73 | チェックサム: | 16861EF4 |
- [SYSLIB]LAN\$SDA.EXE

イメージ名:	"LAN\$SDA"	ビルド ID:	"0100000094"
ファイル ID:	"X-64"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	7-DEC-2012 10:06:48.61	チェックサム:	9EB6A973
 - [SYSEXEXE]LANACP.EXE

イメージ名:	"LANACP"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-29"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-OCT-2010 16:33:09.46	チェックサム:	981E18DE
 - [SYSEXEXE]LANCP.EXE

イメージ名:	"LANCP"	ビルド ID:	"0100000136"
ファイル ID:	"X-93"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-JUL-2014 17:18:09.27	チェックサム:	28194A1
 - [SYSLIB]LAT\$SHR.EXE

イメージ名:	"LAT\$SHR"	ビルド ID:	"0100000129"
ファイル ID:	"LAT\$SHR V2.0"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	24-MAR-2014 13:38:58.25	チェックサム:	36446126
 - [SYSLIB]LBR\$SHR.EXE

イメージ名:	"LBR\$SHR"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"I01-42"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	8-AUG-2011 13:03:54.62	チェックサム:	FCC80C2A
 - [SYSLIB]LCK\$SDA.EXE

イメージ名:	"LCK\$SDA"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-28"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:58:37.95	チェックサム:	E9B49F54
 - [SYSLIB]LDAP\$SHR.EXE

イメージ名:	"LDAP\$SHR"	ビルド ID:	"0100000150"
ファイル ID:	"LDAP V2.0-05000"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	29-NOV-2014 13:40:24.08	チェックサム:	EFBC208F
 - [SYSLIB]LDAPACME\$LDAP-STD_ACMESHR.EXE

イメージ名:	"LDAPACME\$LDAP-STD_ACMESHR"	ビルド ID:	"0100700123"
ファイル ID:	"LDAP-STD V01.05"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	2-DEC-2013 19:32:25.94	チェックサム:	1CF58060

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

- [SYSEXE]LDAP_LOAD_LOCALUSER_DATABASE.EXE

イメージ名:	"LDAP_LOAD_LOCALUSER_DATABASE"	ビルド ID:	"0100700123"
ファイル ID:	"LDAPACME V01.01"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	2-DEC-2013 19:32:37.52	チェックサム:	EEB6188B

- [SYSLIB]LIBOTS.EXE

イメージ名:	"LIBOTS"	ビルド ID:	"0100000156"
ファイル ID:	"V1.0-1"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	6-FEB-2015 14:36:23.97	チェックサム:	287E6FDE

- [SYSLIB]LIBRTL.EXE

イメージ名:	"LIBRTL"	ビルド ID:	"0100000100"
ファイル ID:	"X01-001"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	22-FEB-2013 13:10:51.88	チェックサム:	992B8504

- [SYSEXE]LMF.EXE

イメージ名:	"LMF"	ビルド ID:	"0100000103"
ファイル ID:	"X-26"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	21-MAR-2013 16:19:01.48	チェックサム:	E200B7CD

- [SYSSLDR]LNM\$DEBUG.EXE

イメージ名:	"LNM\$DEBUG"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:47:01.15	チェックサム:	5978A650

- [SYSLIB]LNM\$SDA.EXE

イメージ名:	"LNM\$SDA"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-14"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	23-MAY-2011 12:08:52.91	チェックサム:	677D3AF6

- [SYSSLDR]LOCKING.EXE

イメージ名:	"LOCKING"	ビルド ID:	"0100000212"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	7-JUL-2017 12:46:53.99	チェックサム:	15703AC8

- [SYSSLDR]LOGICAL_NAMES.EXE

イメージ名:	"LOGICAL_NAMES"	ビルド ID:	"0100000005"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	2-FEB-2012 11:31:51.05	チェックサム:	45A4DBF

- [SYSEXE]LOGINOUT.EXE

イメージ名:	"LOGINOUT"	ビルド ID:	"0100000072"
--------	------------	---------	--------------

ファイル ID:	"X-54"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-APR-2012 11:53:32.77	チェックサム:	78A5B7E
• [SYSEXE]MACRO.EXE			
イメージ名:	"MACRO"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"50-120-5-50F9M"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:34:12.29	チェックサム:	85290640
• [SYSEXE]MAIL.EXE			
イメージ名:	"MAIL"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"V1.06"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	19-JUL-2011 16:49:53.38	チェックサム:	7A9C36D0
• [SYSSLDR]MESSAGE_ROUTINES.EXE			
イメージ名:	"MESSAGE_ROUTINES"	ビルド ID:	"0100000096"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	7-JAN-2013 11:47:00.72	チェックサム:	2E2247D9
• [SYSEXE]MIME.EXE			
イメージ名:	"MIME"	ビルド ID:	"0100000074"
ファイル ID:	"V1.93"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	4-MAY-2012 13:19:40.01	チェックサム:	663A67EE
• [SYSEXE]MONITOR.EXE			
イメージ名:	"MONITOR"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-26"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:34:23.93	チェックサム:	AD6E966A
• [SYSLIB]MOUNTSHR.EXE			
イメージ名:	"MOUNTSHR"	ビルド ID:	"0100000199"
ファイル ID:	"X-9"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	6-AUG-2016 02:10:08.16	チェックサム:	D9C0CB95
• [SYSEXE]MSA\$UTIL.EXE			
イメージ名:	"MSA\$UTIL"	ビルド ID:	"0100000190"
ファイル ID:	"X-35"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	4-MAR-2016 16:36:59.07	チェックサム:	482650
• [SYSSLDR]MSCP.EXE			
イメージ名:	"MSCP"	ビルド ID:	"0100000005"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	5-JAN-2012 16:13:28.11	チェックサム:	6E66B3B1

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

- [SYSEXE]MTAAACP.EXE

イメージ名:	"MTAAACP"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-12"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	19-JUL-2011 16:49:58.55	チェックサム:	97B1EE3E

- [SYSSLDR]MULTIPATH.EXE

イメージ名:	"MULTIPATH"	ビルド ID:	"0100000217"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	4-AUG-2017 12:44:05.01	チェックサム:	27777E04

- [SYSSLDR]MULTIPATH_MON.EXE

イメージ名:	"MULTIPATH_MON"	ビルド ID:	"0100000217"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	4-AUG-2017 12:44:07.11	チェックサム:	DFAEBEB

- [SYSSLDR]NET\$CSMACD.EXE

イメージ名:	"CSMACD - NETWORK MANAGEMENT"	ビルド ID:	"0100000136"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-JUL-2014 17:18:03.33	チェックサム:	CC2C9EF8

- [SYSEXE]OPCOM.EXE

イメージ名:	"OPCOM"	ビルド ID:	"0100000080"
ファイル ID:	"X-16"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	11-JUL-2012 10:04:07.81	チェックサム:	F3A17E70

- [SYSLIB]PE\$SDA.EXE

イメージ名:	"PE\$SDA"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-23"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	4-NOV-2010 17:41:40.77	チェックサム:	AF74A4AB

- [SYSLIB]PKM\$SDA.EXE

イメージ名:	"PKM\$SDA"	ビルド ID:	"0100000001"
ファイル ID:	"X-29"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	6-JUL-2010 19:03:08.50	チェックサム:	7C814B0B

- [SYSLIB]PKR\$SDA.EXE

イメージ名:	"PKR\$SDA"	ビルド ID:	"0100000090"
ファイル ID:	"X-14"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-NOV-2012 18:02:56.14	チェックサム:	E945AF58

• [SYSSLDR]PRF\$DEBUG.EXE

イメージ名:	"PRF\$DEBUG"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:47:14.50	チェックサム:	B95D9D6F

• [SYSLIB]PRF\$SDA.EXE

イメージ名:	"PRF\$SDA"	ビルド ID:	"0100000000"
ファイル ID:	"X-27"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	14-MAY-2010 23:12:03.64	チェックサム:	5A37FC1

• [SYSSLDR]PROCESS_MANAGEMENT.EXE

イメージ名:	"PROCESS_MANAGEMENT"	ビルド ID:	"0100000197"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	13-JUN-2016 17:39:32.27	チェックサム:	91F99485

• [SYSSLDR]PROCESS_MANAGEMENT_MON.EXE

イメージ名:	"PROCESS_MANAGEMENT_MON"	ビルド ID:	"0100000197"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	13-JUN-2016 17:39:36.73	チェックサム:	72AD78F4

• [SYSLIB]PTHREAD\$DBGSHR.EXE

イメージ名:	"PTHREAD\$DBGSHR"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"V3.22-095"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-JUL-2011 15:16:48.07	チェックサム:	7F892FAD

• [SYSLIB]PTHREAD\$RTL.EXE

イメージ名:	"PTHREAD\$RTL"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"V3.22-095"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-JUL-2011 15:16:47.68	チェックサム:	FCE15062

• [SYSEXEC]QMAN\$QUEUE_MANAGER.EXE

イメージ名:	"QMAN\$QUEUE_MANAGER"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-3"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	4-NOV-2010 17:41:09.01	チェックサム:	DDA8CCED

• [SYSEXEC]QUEMAN.EXE

イメージ名:	"QUEMAN"	ビルド ID:	"0100000102"
ファイル ID:	"X02-01"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-MAR-2013 11:33:18.74	チェックサム:	39279152

• [SYSEXEC]RECLAIM.EXE

イメージ名:	"RECLAIM"	ビルド ID:	"0100000005"
--------	-----------	---------	--------------

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

ファイル ID:	"X-6"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	2-FEB-2012 11:31:36.50	チェックサム:	19AFE135
• [SYSEXE]RECOVER.EXE			
イメージ名:	"RECOVER"	ビルド ID:	"0100000096"
ファイル ID:	"X01-03"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	7-JAN-2013 11:46:50.50	チェックサム:	2EF02AAC
• [SYS\$LDR]RMS.EXE			
イメージ名:	"RMS"	ビルド ID:	"0100000207"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-MAR-2017 18:45:22.46	チェックサム:	99432A1D
• [SYSEXE]RMSREC\$SERVER.EXE			
イメージ名:	"RMSREC\$SERVER"	ビルド ID:	"0100000096"
ファイル ID:	"X-14"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	7-JAN-2013 11:46:53.10	チェックサム:	50A4A493
• [SYSEXE]SCACP.EXE			
イメージ名:	"SCACP"	ビルド ID:	"0100000155"
ファイル ID:	"X-39"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	23-JAN-2015 20:11:10.14	チェックサム:	D10FEAA0
• [SYSLIB]SDA\$SHARE.EXE			
イメージ名:	"SDA\$SHARE"	ビルド ID:	"0100000197"
ファイル ID:	"X-2"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	13-JUN-2016 17:39:47.27	チェックサム:	74F9783A
• [SYSLIB]SDARMS\$SHARE.EXE			
イメージ名:	"SDARMS\$SHARE"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-7"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:34:23.59	チェックサム:	386DE222
• [SYSEXE]SEARCH.EXE			
イメージ名:	"SEARCH"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X02-09"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	20-OCT-2010 18:17:55.08	チェックサム:	B6C7EED9
• [SYSLIB]SECURESHR.EXE			
イメージ名:	"SECURESHR"	ビルド ID:	"0100000164"
ファイル ID:	"X-13"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-APR-2015 13:41:56.06	チェックサム:	ED8CD06D

- [SYSLIB]SECURESHRP.EXE

イメージ名:	"SECURESHRP"	ビルド ID:	"0100000164"
ファイル ID:	"X-9"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-APR-2015 13:41:54.27	チェックサム:	2584826E

- [SYSSLDR]SECURITY.EXE

イメージ名:	"SECURITY"	ビルド ID:	"0100000167"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	29-MAY-2015 15:07:54.55	チェックサム:	BD5291B5

- [SYSSLDR]SECURITY_MON.EXE

イメージ名:	"SECURITY_MON"	ビルド ID:	"0100000167"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	29-MAY-2015 15:08:18.91	チェックサム:	88775F95

- [SYSEXEXE]SECURITY_SERVER.EXE

イメージ名:	"SECURITY_SERVER"	ビルド ID:	"0100000127"
ファイル ID:	" DEC Ada V3.5"	リンカー ID:	"Linker I02-38"
リンク日時:	5-FEB-2014 18:44:35.82	チェックサム:	3A685627

- [SYSEXEXE]SET.EXE

イメージ名:	"SET"	ビルド ID:	"0100000201"
ファイル ID:	"X02-00"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	31-AUG-2016 16:47:12.32	チェックサム:	C4FEF5C3

- [SYSEXEXE]SETP0.EXE

イメージ名:	"SETP0"	ビルド ID:	"0100000072"
ファイル ID:	"X-3K2"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-APR-2012 11:54:30.78	チェックサム:	215EB1E7

- [SYSEXEXE]SETSHOSERVER.EXE

イメージ名:	"SETSHOSERVER"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-2"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:35:25.04	チェックサム:	FCB8703F

- [SYSEXEXE]SETSHOSHADOW.EXE

イメージ名:	"SETSHOSHADOW"	ビルド ID:	"0100000163"
ファイル ID:	"X-02"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	27-MAR-2015 13:33:12.76	チェックサム:	193DDB00

- [SYSEXEXE]SHADOW_SERVER.EXE

イメージ名:	"SHADOW_SERVER"	ビルド ID:	"0100000163"
--------	-----------------	---------	--------------

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

ファイル ID:	"X-29"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	27-MAR-2015 13:32:36.94	チェックサム:	9A25FD67
• [SYSS\$LDR]SHELL16K.EXE			
イメージ名:	"SHELL16K"	ビルド ID:	"0100000001"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:47:10.39	チェックサム:	B1DC91B0
• [SYSS\$LDR]SHELL32K.EXE			
イメージ名:	"SHELL32K"	ビルド ID:	"0100000001"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:47:13.44	チェックサム:	73F34B95
• [SYSS\$LDR]SHELL64K.EXE			
イメージ名:	"SHELL64K"	ビルド ID:	"0100000001"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:47:15.75	チェックサム:	E62635F8
• [SYSS\$LDR]SHELL8K.EXE			
イメージ名:	"SHELL8K"	ビルド ID:	"0100000001"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:47:05.90	チェックサム:	5C0A23FF
• [SYSEXEXE]SHOW.EXE			
イメージ名:	"SHOW"	ビルド ID:	"0100000201"
ファイル ID:	"X-8"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	31-AUG-2016 16:47:11.79	チェックサム:	7B9F242D
• [SYSEXEXE]SHWCLSTR.EXE			
イメージ名:	"SHWCLSTR"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-27"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:59:12.78	チェックサム:	3A7043B9
• [SYSLIB]SMBSRVSHR.EXE			
イメージ名:	"SMBSRVSHR"	ビルド ID:	"0100000102"
ファイル ID:	"X-6"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-MAR-2013 11:31:21.86	チェックサム:	45E34BD3
• [SYSLIB]SMGSHR.EXE			
イメージ名:	"SMGSHR"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"SMG\$ X1.0-001"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:56:20.10	チェックサム:	2DD21893

• [SYSLIB]SMI\$OBJSHR.EXE

イメージ名:	"SMI\$OBJSHR"	ビルド ID:	"0100000190"
ファイル ID:	"X40-A9"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	4-MAR-2016 16:36:19.98	チェックサム:	22C6A00C

• [SYSLIB]SMI\$SHR.EXE

イメージ名:	"SMI\$SHR"	ビルド ID:	"0100000121"
ファイル ID:	"X01-04"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	22-NOV-2013 13:45:32.71	チェックサム:	517CA5CD

• [SYSEXEXE]SMISERVER.EXE

イメージ名:	"SMISERVER"	ビルド ID:	"0100000197"
ファイル ID:	"X01-15"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	13-JUN-2016 17:39:23.89	チェックサム:	644E4509

• [SYSEXEXE]SMPUTIL.EXE

イメージ名:	"SMPUTIL"	ビルド ID:	"0100000000"
ファイル ID:	"X-30"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	14-MAY-2010 23:10:06.48	チェックサム:	4ECACE4

• [SYSEXEXE]SORTMERGE.EXE

イメージ名:	"SORTMERGE"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"V08-014"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:34:22.07	チェックサム:	25CCC85E

• [SYSLIB]SORTSHR.EXE

イメージ名:	"SORTSHR"	ビルド ID:	"0100000077"
ファイル ID:	"V08-013"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	18-JUN-2012 13:58:52.15	チェックサム:	2260F754

• [SYSLIB]SPL\$SDA.EXE

イメージ名:	"SPL\$SDA"	ビルド ID:	"0100000000"
ファイル ID:	"X-43"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	14-MAY-2010 23:11:24.22	チェックサム:	1E5B7D4B

• [SYSSLDR]SWIS\$DEBUG.EXE

イメージ名:	"SWIS\$DEBUG"	ビルド ID:	"0100000141"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-SEP-2014 16:55:31.00	チェックサム:	6B25B3D6

• [SYSLIB]SWIS\$SDA.EXE

イメージ名:	"SWIS\$SDA"	ビルド ID:	"0100000141"
--------	-------------	---------	--------------

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

ファイル ID:	"X-2A1"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-SEP-2014 16:55:33.15	チェックサム:	81C15147
• [SYS\$LDR]SYS\$BASE_IMAGE.EXE			
イメージ名:	"SYS\$BASE_IMAGE"	ビルド ID:	"0100000197"
ファイル ID:	"IA64 XCFR-J2I"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	13-JUN-2016 17:36:23.53	チェックサム:	79B46854
• [SYS\$LDR]SYS\$CLUSTER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$CLUSTER"	ビルド ID:	"0100000212"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	7-JUL-2017 12:46:42.45	チェックサム:	FC2F9309
• [SYS\$LDR]SYS\$CLUSTER_MON.EXE			
イメージ名:	"SYS\$CLUSTER_MON"	ビルド ID:	"0100000212"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	7-JUL-2017 12:46:47.10	チェックサム:	FDA6D165
• [SYS\$LDR]SYS\$CMDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$CMDRIVER"	ビルド ID:	"0100000000"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:46:55.59	チェックサム:	C96897F
• [SYS\$LDR]SYS\$CTDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$CTDRIVER"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-JUL-2011 15:18:12.31	チェックサム:	53813CDB
• [SYS\$LDR]SYS\$DADDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$DADDRIVER"	ビルド ID:	"0100000169"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-JUN-2015 15:38:37.57	チェックサム:	72EF0DAC
• [SYSEXE]SYS\$DAYLIGHT_SAVING.EXE			
イメージ名:	"SYS\$DAYLIGHT_SAVING"	ビルド ID:	"0100000145"
ファイル ID:	"TDF V1.0-0"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	24-OCT-2014 15:57:37.11	チェックサム:	3E86631B
• [SYS\$LDR]SYS\$DKBTDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$DKBTDRIVER"	ビルド ID:	"0100000072"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-APR-2012 13:59:41.29	チェックサム:	7344110D

• [SYSS\$LDR]SYSS\$DKDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$DKDRIVER"	ビルド ID:	"0100000214"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	21-JUL-2017 13:01:38.16	チェックサム:	AC449EBE

• [SYSS\$LDR]SYSS\$DNDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$DNDRIVER"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:34:36.29	チェックサム:	644C8CD6

• [SYSS\$LDR]SYSS\$DQDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$DQDRIVER"	ビルド ID:	"0100000069"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	7-MAR-2012 18:18:57.12	チェックサム:	F8BE3F77

• [SYSS\$LDR]SYSS\$DZCDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$DZCDRIVER"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:58:46.35	チェックサム:	ECE337BB

• [SYSS\$LDR]SYS\$EHCIDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$EHCIDRIVER"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	20-OCT-2010 18:18:08.54	チェックサム:	BB806079

• [SYSS\$LDR]SYS\$EI1000.EXE

イメージ名:	"SYS\$EI1000DRIVER"	ビルド ID:	"0100000192"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	6-MAY-2016 12:55:17.28	チェックサム:	7E4C0573

• [SYSS\$LDR]SYS\$EI1000_MON.EXE

イメージ名:	"SYS\$EI1000DRIVER_MON"	ビルド ID:	"0100000192"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	6-MAY-2016 12:55:18.51	チェックサム:	C4576A33

• [SYSS\$LDR]SYS\$EIDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$EIDRIVER"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	7-SEP-2010 16:28:07.44	チェックサム:	3EE9231A

• [SYSS\$LDR]SYS\$EIDRIVER_MON.EXE

イメージ名:	"SYS\$EIDRIVER_MON"	ビルド ID:	"0100000003"
--------	---------------------	---------	--------------

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	7-SEP-2010 16:28:07.87	チェックサム:	86A65966
• [SYSS\$LDR]SYS\$EIGBTDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$EIGBTDRIVER"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	15-SEP-2010 15:50:51.03	チェックサム:	B66A8957
• [SYSS\$LDR]SYS\$ER57711.EXE			
イメージ名:	"SYS\$EW57711DRIVER"	ビルド ID:	"0100000136"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-JUL-2014 17:19:12.99	チェックサム:	7C4D33EC
• [SYSS\$LDR]SYS\$ER57711_MON.EXE			
イメージ名:	"SYS\$EW57711DRIVER_MON"	ビルド ID:	"0100000136"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-JUL-2014 17:19:19.34	チェックサム:	7F83B8E3
• [SYSS\$LDR]SYS\$EW5700.EXE			
イメージ名:	"SYS\$EW5700DRIVER"	ビルド ID:	"0100000192"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	6-MAY-2016 12:55:14.24	チェックサム:	AA0501E5
• [SYSS\$LDR]SYS\$EW5700_MON.EXE			
イメージ名:	"SYS\$EW5700DRIVER_MON"	ビルド ID:	"0100000192"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	6-MAY-2016 12:55:15.81	チェックサム:	86969DFC
• [SYSS\$LDR]SYS\$EW57711.EXE			
イメージ名:	"SYS\$EW57711DRIVER"	ビルド ID:	"0100000192"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	6-MAY-2016 12:55:25.46	チェックサム:	EB59A528
• [SYSS\$LDR]SYS\$EW57711_MON.EXE			
イメージ名:	"SYS\$EW57711DRIVER_MON"	ビルド ID:	"0100000192"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	6-MAY-2016 12:55:26.17	チェックサム:	CC507085
• [SYSS\$LDR]SYS\$EWXFRAME.EXE			
イメージ名:	"SYS\$EWXFRAMEDRIVER"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-OCT-2010 16:33:17.81	チェックサム:	23C180CD

• [SYSS\$LDR]SYSS\$EWXFRAME_MON.EXE

イメージ名:	"SYS\$EWXFRAMEDRIVER_MON"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-OCT-2010 16:33:18.20	チェックサム:	B64AAAFCD

• [SYSS\$LDR]SYSS\$FGEDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$FGEDRIVER"	ビルド ID:	"0100000190"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	4-MAR-2016 16:36:53.33	チェックサム:	6555E35D

• [SYSS\$LDR]SYSS\$GHDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$GHDRIVER"	ビルド ID:	"0100000000"
ファイル ID:	"DW V8.4-100903"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:59:16.70	チェックサム:	9D71158B

• [SYSS\$LDR]SYSS\$GLDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$GLDRIVERDRIVER"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	20-OCT-2010 18:18:47.42	チェックサム:	E58D5824

• [SYSS\$LDR]SYSS\$GLDRIVER_MON.EXE

イメージ名:	"SYS\$GLDRIVERDRIVER_MON"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	20-OCT-2010 18:18:50.51	チェックサム:	DC02EB42

• [SYSS\$LDR]SYSS\$GSPBTDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$GSPBTDRIVER"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:58:27.30	チェックサム:	8D292EB3

• [SYSS\$LDR]SYSS\$GSPDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$GSPDRIVER"	ビルド ID:	"0100000154"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	16-JAN-2015 13:50:32.81	チェックサム:	B655810B

• [SYSS\$LDR]SYSS\$HIDDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$HIDDRIVER"	ビルド ID:	"0100000089"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	29-OCT-2012 17:14:28.55	チェックサム:	16BEF158

• [SYSS\$LDR]SYSS\$HUBDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$HUBDRIVER"	ビルド ID:	"0100000089"
--------	------------------	---------	--------------

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	29-OCT-2012 17:14:30.33	チェックサム:	86E3F8C1
• [SYS\$LDR]SYS\$HWP0001.EXE			
イメージ名:	"SYS\$HWP0001"	ビルド ID:	"0100000000"
ファイル ID:	"X-35"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	14-MAY-2010 23:10:27.37	チェックサム:	3083FF7
• [SYS\$LDR]SYS\$HWP0004.EXE			
イメージ名:	"SYS\$HWP0004"	ビルド ID:	"0100000000"
ファイル ID:	"X-35"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	14-MAY-2010 23:10:30.81	チェックサム:	BEFFC254
• [SYS\$LDR]SYS\$IKUDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$IKUDRIVER"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"DW V8.4-101104"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	4-NOV-2010 18:16:07.43	チェックサム:	3D49C68C
• [SYS\$LDR]SYS\$IKXDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$IKXDRIVER"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"DW V8.4-101104"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	4-NOV-2010 18:15:47.02	チェックサム:	8C69C757
• [SYS\$LDR]SYS\$IMUDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$IMUDRIVER"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"DW V8.4-101104"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	4-NOV-2010 18:16:13.84	チェックサム:	9FF28778
• [SYS\$LDR]SYS\$IPC_SERVICES.EXE			
イメージ名:	"SYS\$IPC_SERVICES"	ビルド ID:	"0100000115"
ファイル ID:	"V1.3-X03E-XCFR"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2013 15:22:32.40	チェックサム:	FFAB881E
• [SYS\$LDR]SYS\$KBDDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$KBDDRIVER"	ビルド ID:	"0100000089"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	29-OCT-2012 17:14:33.40	チェックサム:	5F935882
• [SYS\$LDR]SYS\$LAN.EXE			
イメージ名:	"SYS\$LAN"	ビルド ID:	"0100000136"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-JUL-2014 17:19:37.45	チェックサム:	5D4C63C6

• [SYSS\$LDR]SYSS\$LAN_CSMACD.EXE

イメージ名:	"SYS\$LAN_CSMACD"	ビルド ID:	"0100000136"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-JUL-2014 17:19:39.89	チェックサム:	19C23370

• [SYSS\$LDR]SYSS\$LASTDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$LASTDRIVER"	ビルド ID:	"0100000001"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	6-JUL-2010 19:02:07.00	チェックサム:	EE4DD88B

• [SYSS\$LDR]SYSS\$LLDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$LLDRIVER"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	19-JUL-2011 16:50:08.84	チェックサム:	2F9ACFD8

• [SYSS\$LDR]SYSS\$MDDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$MDDRIVER"	ビルド ID:	"0100000074"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	4-MAY-2012 13:19:43.36	チェックサム:	1319C9AB

• [SYSS\$LDR]SYSS\$MKDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$MKDRIVER"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	19-JUL-2011 16:50:07.12	チェックサム:	178ABECA

• [SYSS\$LDR]SYSS\$OHCIDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$OHCIDRIVER"	ビルド ID:	"0100000227"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	25-MAY-2018 17:43:21.35	チェックサム:	C7480226

• [SYSS\$LDR]SYSS\$PCIE_SUPPORT.EXE

イメージ名:	"SYS\$PCIE_SUPPORT"	ビルド ID:	"0100000000"
ファイル ID:	"X-35"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	14-MAY-2010 23:10:53.70	チェックサム:	BFFB6434

• [SYSS\$LDR]SYSS\$PCI_SUPPORT.EXE

イメージ名:	"SYS\$PCI_SUPPORT"	ビルド ID:	"0100000000"
ファイル ID:	"X-35"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	14-MAY-2010 23:10:20.78	チェックサム:	DF096D31

• [SYSS\$LDR]SYSS\$PEDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$PEDRIVER"	ビルド ID:	"0100000200"
--------	-----------------	---------	--------------

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	26-AUG-2016 15:27:24.90	チェックサム:	5395BD7F
• [SYS\$LDR]SYS\$PEDRIVER_MON.EXE			
イメージ名:	"SYS\$PEDRIVER_MON"	ビルド ID:	"0100000200"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	26-AUG-2016 15:27:28.96	チェックサム:	697EF3FE
• [SYS\$LDR]SYS\$PGADRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$PGADRIVER"	ビルド ID:	"0100000190"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	4-MAR-2016 16:36:49.71	チェックサム:	589BF3A6
• [SYS\$LDR]SYS\$PGQBTDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$PGQBTDRIVER"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	19-JUL-2011 16:49:48.71	チェックサム:	A295000C
• [SYS\$LDR]SYS\$PGQDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$PGQDRIVER"	ビルド ID:	"0100000202"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	16-DEC-2016 13:38:14.19	チェックサム:	BAFE66DE
• [SYS\$LDR]SYS\$PKDDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$PKDDRIVER"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	9-SEP-2011 13:36:15.09	チェックサム:	B514E52C
• [SYS\$LDR]SYS\$PKMBTDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$PKMBTDRIVER"	ビルド ID:	"0100000154"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	16-JAN-2015 13:48:55.97	チェックサム:	87CBAC44
• [SYS\$LDR]SYS\$PKMDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$PKMDRIVER"	ビルド ID:	"0100000154"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	16-JAN-2015 13:49:26.95	チェックサム:	904E4821
• [SYS\$LDR]SYS\$PKRBTDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$PKRBTDRIVER"	ビルド ID:	"0100000073"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-APR-2012 20:44:43.99	チェックサム:	B05474E1

• [SYS\$LDR]SY\$PKRDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$PKRDRIVER"	ビルド ID:	"0100000090"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-NOV-2012 18:02:38.48	チェックサム:	E322DA7

• [SYS\$LDR]SY\$PKWDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$PKWDRIVER"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	15-SEP-2010 15:51:10.63	チェックサム:	D54F31DE

• [SYS\$LDR]SY\$PLATFORM_SUPPORT.EXE

イメージ名:	"SYS\$PLATFORM_SUPPORT"	ビルド ID:	"0100000115"
ファイル ID:	"X-35"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2013 15:22:31.30	チェックサム:	641EA930

• [SYSEXE]SY\$READ_TIME_ZONE_RULE.EXE

イメージ名:	"SYS\$READ_TIME_ZONE_RULE"	ビルド ID:	"0100000145"
ファイル ID:	"X-7"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	24-OCT-2014 15:57:41.25	チェックサム:	1F71AED4

• [SYSLIB]SY\$SETBOOTSHR.EXE

イメージ名:	"SYS\$SETBOOTSHR"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"SB V6.0-1"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:57:19.00	チェックサム:	53D38BCD

• [SYS\$LDR]SY\$SHDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$SHDRIVER"	ビルド ID:	"0100000197"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	13-JUN-2016 17:39:47.94	チェックサム:	C3B7B048

• [SYSEXE]SY\$SMHANDLER.EXE

イメージ名:	"SYS\$SMHANDLER"	ビルド ID:	"0100000222"
ファイル ID:	"X-9"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	16-FEB-2018 15:20:21.69	チェックサム:	7B15C0B1

• [SYS\$LDR]SY\$SRDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$SRDRIVER"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-JUL-2011 15:18:12.96	チェックサム:	51BE4C5

• [SYS\$LDR]SY\$TRANSACTION_SERVICES.EXE

イメージ名:	"SYS\$TRANSACTION_SERVICES"	ビルド ID:	"0100000114"
--------	-----------------------------	---------	--------------

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

ファイル ID:	"V2.1-X035-XCFR"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-AUG-2013 12:29:33.65	チェックサム:	877D55D7
• [SYS\$LDR]SYS\$UGDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$UGDRIVER"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	23-MAY-2011 12:09:08.68	チェックサム:	A71A64C6
• [SYS\$LDR]SYS\$UHCIDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$UHCIDRIVER"	ビルド ID:	"0100000089"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	29-OCT-2012 17:14:38.21	チェックサム:	70AD4BB8
• [SYS\$LDR]SYS\$USBDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$USBDRIVER"	ビルド ID:	"0100000089"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	29-OCT-2012 17:14:31.87	チェックサム:	AAD4A2E2
• [SYS\$LDR]SYS\$UTC_SERVICES.EXE			
イメージ名:	"SYS\$UTC_SERVICES"	ビルド ID:	"0100000126"
ファイル ID:	"DTSS T0.0-000"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	24-JAN-2014 10:33:28.01	チェックサム:	1CD4B7DC
• [SYS\$LDR]SYS\$VLANDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$VLANDRIVER"	ビルド ID:	"0100000094"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	7-DEC-2012 10:06:28.03	チェックサム:	A718E076
• [SYS\$LDR]SYS\$VM.EXE			
イメージ名:	"SYS\$VM"	ビルド ID:	"0100000227"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	25-MAY-2018 17:42:45.07	チェックサム:	209525E2
• [SYS\$LDR]SYS\$XFCACHE.EXE			
イメージ名:	"SYS\$XFCACHE"	ビルド ID:	"0100000130"
ファイル ID:	"V1.0"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	5-MAY-2014 14:14:11.69	チェックサム:	6D151B5D
• [SYS\$LDR]SYS\$XFCACHE_MON.EXE			
イメージ名:	"SYS\$XFCACHE_MON"	ビルド ID:	"0100000130"
ファイル ID:	"V1.0"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	5-MAY-2014 14:14:22.70	チェックサム:	E0CB74B5

- [SYSEXE]SYSBOOT.EXE

イメージ名:	"SYSBOOT"	ビルド ID:	"0100000197"
ファイル ID:	"X-154"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	13-JUN-2016 17:39:44.81	チェックサム:	46B4FEF3

- [SYSEXE]SYSGEN.EXE

イメージ名:	"SYSGEN"	ビルド ID:	"0100000197"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	13-JUN-2016 17:39:45.45	チェックサム:	3E8C6A52

- [SYS\$LDR]SYSGETSYI.EXE

イメージ名:	"SYSGETSYI"	ビルド ID:	"0100000001"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:47:29.79	チェックサム:	73E9C6B1

- [SYSEXE]SYSINIT.EXE

イメージ名:	"SYSINIT"	ビルド ID:	"0100000197"
ファイル ID:	"X-128"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	13-JUN-2016 17:39:45.29	チェックサム:	CCDA1B50

- [SYS\$LDR]SYSLDR_DYN.EXE

イメージ名:	"SYSLDR_DYN"	ビルド ID:	"0100000001"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:47:31.51	チェックサム:	7DCF2B47

- [SYSEXE]SYSMAN.EXE

イメージ名:	"SYSMAN"	ビルド ID:	"0100000197"
ファイル ID:	"X01-22"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	13-JUN-2016 17:39:22.69	チェックサム:	A154FEDC

- [SYSMSG]SYSMSGTMSG.EXE

イメージ名:	"SYSMSGTMSG"	ビルド ID:	"0100000172"
ファイル ID:	"X-4"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-JUL-2015 14:06:02.88	チェックサム:	66DAEEA9

- [SYSMSG]SYSMSG.EXE

イメージ名:	"SYSMSG"	ビルド ID:	"0100000201"
ファイル ID:	"X-9"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	31-AUG-2016 16:45:47.74	チェックサム:	945E9A66

- [SYS\$LDR]SYSTEM_DEBUG.EXE

イメージ名:	"SYSTEM_DEBUG"	ビルド ID:	"0100000002"
--------	----------------	---------	--------------

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:46:51.90	チェックサム:	2CB6F89A
• [SYSS\$LDR]SYSTEM_PRIMITIVES.EXE			
イメージ名:	"SYSTEM_PRIMITIVES"	ビルド ID:	"0100000197"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	13-JUN-2016 17:39:26.61	チェックサム:	3772EF36
• [SYSS\$LDR]SYSTEM_PRIMITIVES_MIN.EXE			
イメージ名:	"SYSTEM_PRIMITIVES_MIN"	ビルド ID:	"0100000197"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	13-JUN-2016 17:39:32.91	チェックサム:	441FAA1D
• [SYSS\$LDR]SYSTEM_SYNCHRONIZATION.EXE			
イメージ名:	"SYSTEM_SYNCHRONIZATION"	ビルド ID:	"0100000001"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:46:52.40	チェックサム:	161C2D6A
• [SYSS\$LDR]SYSTEM_SYNCHRONIZATION_MIN.EXE			
イメージ名:	"SYSTEM_SYNCHRONIZATION_MIN"	ビルド ID:	"0100000001"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:46:50.40	チェックサム:	D14A8BAA
• [SYSS\$LDR]SYSTEM_SYNCHRONIZATION_UNI.EXE			
イメージ名:	"SYSTEM_SYNCHRONIZATION_UNI"	ビルド ID:	"0100000001"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:46:53.59	チェックサム:	D6B3BD38
• [SYSEXEXE]TDF\$SET_TIMEZONE.EXE			
イメージ名:	"TDF\$SET_TIMEZONE"	ビルド ID:	"0100000145"
ファイル ID:	"TDF V1.0-0"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	24-OCT-2014 15:57:45.59	チェックサム:	80AF45CC
• [SYSS\$LDR]TR\$DEBUG.EXE			
イメージ名:	"TR\$DEBUG"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	11-OCT-2010 15:18:28.03	チェックサム:	52C5C475
• [SYSLIB]TR\$SDA.EXE			
イメージ名:	"TR\$SDA"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-18"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	11-OCT-2010 15:18:28.48	チェックサム:	581D8D55

• [SYSLIB]TRACE.EXE

イメージ名:	"TRACE"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"V8.3-003"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-MAR-2011 12:16:03.43	チェックサム:	C71D9CD2

• [SYSEXE]TYPE.EXE

イメージ名:	"TYPE"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-28"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	19-JUL-2011 16:50:54.13	チェックサム:	33BD59CC

• [SYSTEST]UETINIT00.EXE

イメージ名:	"UETINIT00"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-48"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:34:24.84	チェックサム:	87C4672D

• [SYSLIB]USB\$SDA.EXE

イメージ名:	"USB\$SDA"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-34"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-JUL-2011 15:18:27.10	チェックサム:	BDAC4346

• [SYSEXE]USB\$UCM_SERVER.EXE

イメージ名:	"USB\$UCM_SERVER"	ビルド ID:	"0100000189"
ファイル ID:	"X-28"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	19-FEB-2016 14:12:17.22	チェックサム:	E2A6B2BB

• [SYSEXE]VERIFY.EXE

イメージ名:	"VERIFY"	ビルド ID:	"0100000135"
ファイル ID:	"X-28"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	2-JUL-2014 14:05:27.75	チェックサム:	55E12EBE

• [SYSEXE]VMOUNT.EXE

イメージ名:	"VMOUNT"	ビルド ID:	"0100000199"
ファイル ID:	"X-12"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	6-AUG-2016 03:49:52.76	チェックサム:	652E1A33

• [SYSLIB]VMS\$FORMAT_AUDIT_SYSTEM.EXE

イメージ名:	"VMS\$FORMAT_AUDIT_SYSTEM"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-20"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:34:08.44	チェックサム:	2F17FA11

• [SYSLIB]VMS\$VMS_ACMESHR.EXE

イメージ名:	"VMS\$VMS_ACMESHR"	ビルド ID:	"0100000090"
--------	--------------------	---------	--------------

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

- | | | | |
|----------|-------------------------|----------|-----------------|
| ファイル ID: | "V1.0" | リンカー ID: | "Linker I02-38" |
| リンク日時: | 29-OCT-2012 14:37:17.25 | チェックサム: | 2BDD6483 |
- [SYSEXE]VMSHELP.EXE
- | | | | |
|----------|-------------------------|----------|-----------------|
| イメージ名: | "VMSHELP" | ビルド ID: | "010000002" |
| ファイル ID: | "X-4" | リンカー ID: | "Linker I02-37" |
| リンク日時: | 12-AUG-2010 14:58:20.35 | チェックサム: | E616A288 |
- [SYSLIB]XFC\$SDA.EXE
- | | | | |
|----------|-------------------------|----------|-----------------|
| イメージ名: | "XFC\$SDA" | ビルド ID: | "0100000110" |
| ファイル ID: | "V1.0" | リンカー ID: | "Linker I02-37" |
| リンク日時: | 29-MAY-2013 11:28:20.00 | チェックサム: | 48DB616D |
- [SYSUPD]ACCOUNTIN.HLP
 - [SYSHLP]ACMELDAP_STD_CONFIG_INSTALL.PDF
 - [SYSHLP]ACMELDAP_STD_CONFIG_INSTALL.TXT
 - [SYSUPD]ACMELOGIN_PREINSTAL_UPGRADE.COM
 - [SYSHLP]ACME_DEV_README.TXT
 - [SYSUPD]ANALYZE.CLD
 - [SYSUPD]ANALYZE.HLP
 - [SYSEXE]AUDIT_SERVER.STB
 - [SYSUPD]AUTOGEN.COM
 - [SYSUPD]AUTOGEN_LM.COM
 - [SYSUPD]BACKUP.CLD
 - [SYSUPD]BACKUP.HLP
 - [SYSLIB]BASIC\$STARLET.TLB
 - [SYSMGR]BOOT_OPTIONS.COM
 - [SYSMGR]CLUSTER_CONFIG.COM
 - [SYSMGR]CLUSTER_CONFIG_LAN.COM
 - [SYSSLDR]CNX\$DEBUG.STB
 - [SYSUPD]COPY.CLD
 - [SYSUPD]CRTL.HLP
 - [SYSEXE]CSP.STB
 - [SYSLIB]CXXL\$ANSI_DEF.TLB
 - [SYSHLP]DBG\$HELP.HLB
 - [SYSUPD]DCLDICT.HLP

- [SYSLIB]DECC\$RTLDEF.TLB (updated by DECC\$RTLDEF.FOR_RELEASE)
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\$EXAMPLES.TXT
- [SYSUPD]ENCRYPT.CLD
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT_3DES.C
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT_DEF.ADA
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT_DEF.BAS
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT_DEF.FOR
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT_DEF.H
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT_DEF.MAR
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT_DEF.PAS
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT_DEF.PLI
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT_DEF.R32
- [SYS\$STARTUP]ENCRYPT_START.COM
- [SYS\$LDR]ERRORLOG.STB
- [SYS\$LDR]EXCEPTION.STB
- [SYS\$LDR]EXCEPTION_MON.STB
- [SYS\$LDR]EXEC_INIT.STB
- [SYS\$LDR]F11BXQP.STB
- [SYS\$LDR]FLT\$DEBUG.STB
- [SYSEXE]FTP.EFI
- [SYSEXE]I64VMS\$PCSI_INSTALL.COM
- [SYSEXE]I64VMS\$PCSI_INSTALL_MIN.COM
- [SYSEXE]IFCONFIG.EFI
- [SYS\$LDR]IMAGE_MANAGEMENT.STB
- [SYSUPD]INIT.CLD
- [SYSEXE]INS_STARTUP.COM
- [SYS\$LDR]IO_ROUTINES.STB
- [SYS\$LDR]IO_ROUTINES_MON.STB
- [SYSHLP]LANCP\$HELP.HLB
- [SYS\$STARTUP]LDAPACME\$CONFIG-STD.INI_TEMPLATE
- [SYSHLP.EXAMPLES]LDAP_EXAMPLE.C
- [SYSEXE]LDAP_LOCALUSER_DATABASE.TXT_TEMPLATE
- [SYSLIB]LIB.L32

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

- [SYSLIB]LIB.L64
- [SYSLIB]LIB.MLB
- [SYSLIB]LIB.R64
- [SYSLIB]LIB.REQ
- [SYSLIB]LIBOTS.OLB
- [SYSLIB]LIBOTS.STB
- [SYSUPD]LIBRARY.HLP
- [SYSLIB]LIBRTL.DSF
- [SYSLIB]LIBRTL.STB
- [SYS\$LDR]LNMS\$DEBUG.STB
- [SYS\$LDR]LOCKING.STB
- [SYS\$LDR]LOGICAL_NAMES.STB
- [SYSHLP]MAILHELP.HLB
- [SYS\$LDR]MESSAGE_ROUTINES.STB
- [SYSHLP]MSA_UTIL_HELP.HLB
- [SYS\$LDR]MSCP.STB
- [SYSHLP]MSGHLP\$LIBRARY.MSGHLP\$DATA
- [SYS\$LDR]MULTIPATH.STB
- [SYS\$LDR]MULTIPATH_MON.STB
- [SYS\$LDR]NET\$CSMACD.STB
- [SYSEXE]OPCOM.STB
- [SYSEXE]PCSI_EFIBACKUP.COM
- [SYSEXE]PCSI_EFIINSTALL.COM
- [SYSEXE]PING.EFI
- [SYS\$LDR]PRF\$DEBUG.STB
- [SYS\$LDR]PROCESS_MANAGEMENT.STB
- [SYS\$LDR]PROCESS_MANAGEMENT_MON.STB
- [SYS\$LDR]RMS.STB
- [SYS\$LDR]RMSDEF.STB
- [SYSEXE]ROUTE.EFI
- [SYSHLP]SCACP\$HELP.HLB
- [SYSHLP]SDA.HLB
- [SYS\$LDR]SECURITY.STB

- [SYSSLDR]SECURITY_MON.STB
- [SYSUPD]SET.CLD
- [SYSEXEXE]SHADOW_SERVER.STB
- [SYSEXEXE]SHARED_MEMORY_APIS_IN_OPENVMS_CRTL.PDF
- [SYSEXEXE]SHARED_MEMORY_APIS_IN_OPENVMS_CRTL.TXT
- [SYSSLDR]SHELL16K.STB
- [SYSSLDR]SHELL32K.STB
- [SYSSLDR]SHELL64K.STB
- [SYSSLDR]SHELL8K.STB
- [SYSEXEXE]SHUTDOWN.COM
- [SYSLIB]SMGSHR.STB
- [SYSLIB]STARLET.MLB
- [SYSLIB]STARLET.R64
- [SYSLIB]STARLET.REQ
- [SYSLIB]STARLETPAS.TLB
- [SYSLIB]STARLETS.D.TLB
- [SYSSLDR]SWISSDEBUG.STB
- [SYSSLDR]SYS\$CLUSTER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$CLUSTER_MON.STB
- [SYSSLDR]SYS\$CMDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$CTDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$DADDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$DKDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$DNDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$DQDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$EHCIDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$EI1000.STB
- [SYSSLDR]SYS\$EI1000_MON.STB
- [SYSSLDR]SYS\$EIDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$EIDRIVER_MON.STB
- [SYSSLDR]SYS\$EW5700.STB
- [SYSSLDR]SYS\$EW5700_MON.STB
- [SYSSLDR]SYS\$EW57711DRIVER.STB

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

- [SYSSLDR]SYSEW57711DRIVER_MON.STB
- [SYSSLDR]SYSEFGEDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYSEGHDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYSEGSPDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYSEHIDDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYSEHUBDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SESIKUDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SESIKXDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SESIMUDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SESIPC_SERVICES.STB
- [SYSSLDR]SESKBDDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SESLAN.STB
- [SYSSLDR]SESLAN_CSMACD.STB
- [SYSSLDR]SESLASTDRIVER.STB
- [SYSLIB]SESLIB_C.TLB
- [SYSSLDR]SESLLDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SESMEMORYDISK.DAT
- [SYSSLDR]SESMKDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SESOHCIDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SESPEDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SESPEDRIVER_MON.STB
- [SYSSLDR]SESPGADRIVER.STB
- [SYSSLDR]SESPGQDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SESPKDDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SESPKMDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SESPKRDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SESPKWDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SESSHDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SESSRDRIVER.STB
- [SYSLIB]SESTARLET_C.TLB
- [SYSSLDR]SE\$UGDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SE\$UHCIDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SE\$USBDRIVER.STB

- [SYS\$LDR]SYS\$VLANDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$VM.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$XFCACHE.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$XFCACHE_MON.STB
- [SYSHLP]SYSGEN.HLB
- [SYS\$LDR]SYSGETSYI.STB
- [SYS\$LDR]SYSLDR_DYN.STB
- [SYSHLP]SYSMANHELP.HLB
- [SYSMSG]SYSMSG.STB
- [SYSUPD]SYSTEM.HLP
- [SYS\$LDR]SYSTEM_DEBUG.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM_PRIMITIVES.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM_PRIMITIVES_MIN.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM_SYNCHRONIZATION.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM_SYNCHRONIZATION_MIN.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM_SYNCHRONIZATION_UNI.STB
- [SYSUPD]SYS_PARAMETERS.HLP
- [SYSEXE]TCPIP4.EFI
- [SYS\$LDR]TR\$DEBUG.STB
- [SYSHLP]UAFHELP.HLB
- [SYSUPD]UTIL_ROUTINES.HLP
- [SYS\$STARTUP]VMS\$CONFIG-050_SHADOW_SERVER.COM
- [SYS\$STARTUP]VMS\$DEVICE_STARTUP.COM
- [SYS\$STARTUP]VMS\$LPBEGIN-050_STARTUP.COM
- [SYSLIB]VMS84I_UPDATE-V0200_COVER.TXT
- [SYSLIB]VMS84I_UPDATE-V0500_COVER.TXT
- [SYSUPD]VMSINSTAL.COM
- [SYSMSG]VMSINSTAL_LANGUAGE.COM
- [SYSEXE]VMS_BCFG.EFI
- [SYSEXE]VMS_LOADER.EFI
- [SYSEXE]VMS_SET.EFI
- [SYSEXE]VMS_SHOW.EFI

